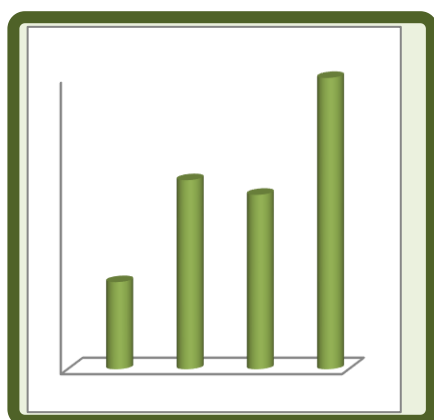
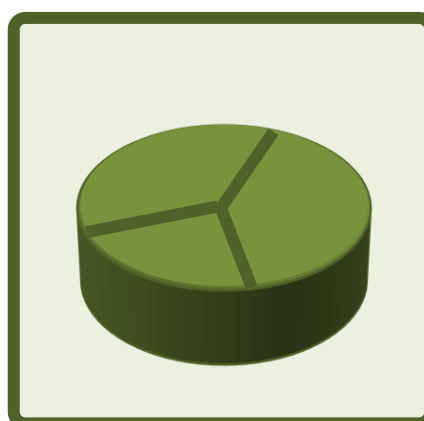


目で見る 北海道貿易



「目で見える北海道貿易」について

この度「目で見える北海道貿易2021」を取りまとめました。

本資料は、財務省の「貿易統計」をもとに、2020年の北海道貿易に関する統計データを視覚化し、北海道貿易の現状をわかりやすくとらえることを目的として取りまとめたものです。

本資料の作成においては、財務省関税局や函館税関が発表している統計・資料を利用し、下記に基づき作成しています。

1. 統計地域

本資料における貿易額は、函館税関が管轄する北海道に蔵置された貨物の通関額です。

2. 統計計上の時期

輸出は当該貨物の積載する船舶又は航空機が出港する日、輸入は当該貨物の輸入許可（承認）の日となります。

3. 価額（輸出入額）

輸出はFOB価格、輸入はCIF価格を用いています。

4. 統計の段階

貿易統計は、速報→確報→確々報→確定という段階を踏み統計数値が修正されます。確々報は統計の計上年の翌年3月頃に公表され、確定は翌年11月頃に公表されます。本資料は速報性を重視し、確々報に基づき作成しています。

本資料は、こちらからダウンロードすることも可能です。

「目で見える北海道貿易2021」（PDF形式/100KB）

⇒<https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/hokkaido/trade.html>

目 次

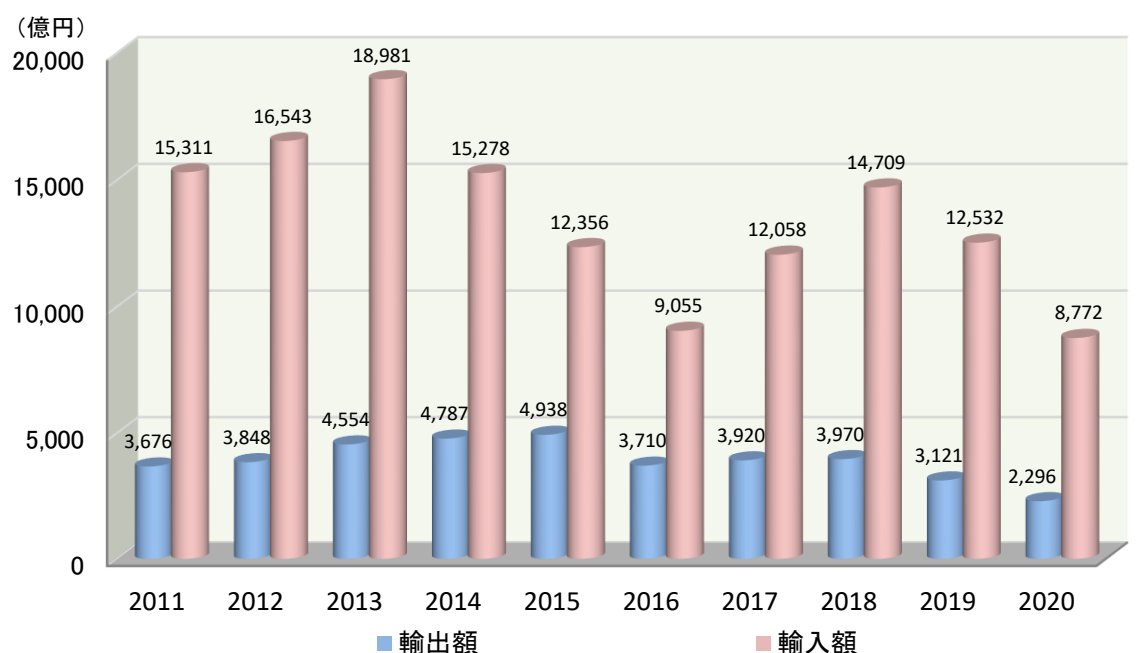
I. 北海道と全国の貿易の現状	
1. 北海道の貿易の現状	1
2. 全国の貿易の現状	1
3. 全国の地域別貿易額	2
4. 北海道の通関官署別貿易額	2
II. 貿易品目別の輸出入状況	
1. 品目別輸出額(北海道、全国)	3
2. 品目別輸入額(北海道、全国)	3
III. 北海道の主な品目別貿易相手国・地域	
1. 原料別製品の貿易相手国・地域	4
2. 輸送用機器の貿易相手国・地域	5
IV. 主な貿易相手地理圏、国・地域	
1. 北海道の主な貿易相手地理圏	6
2. 全国の主な貿易相手地理圏	6
3. 北海道の主な貿易相手国・地域	7
4. 全国の主な貿易相手国・地域	8
V. 北海道の主要貿易相手国・地域との貿易概況	
1. 中国との貿易概況	9
2. 香港との貿易概況	11
3. 韓国との貿易概況	13
4. 米国との貿易概況	15
5. タイとの貿易概況	17
6. ベトナムとの貿易概況	19
7. ロシアとの貿易概況	21
VI. 2020年の北海道における食料品輸出概況	
1. 北海道の輸出額全体に占める食料品の割合	23
2. 主な品目別の食料品輸出額	24
3. 食料品の主な輸出相手国・地域	32

I. 北海道と全国の貿易の現状

1. 北海道の貿易の現状

2020年の北海道の貿易額は、輸出が前年比26.4%減の2,296億円、輸入が前年比30.0%減の8,772億円となった。
貿易赤字額は前年比31.2%減の6,476億円となった。

図表1 北海道の貿易額年別推移

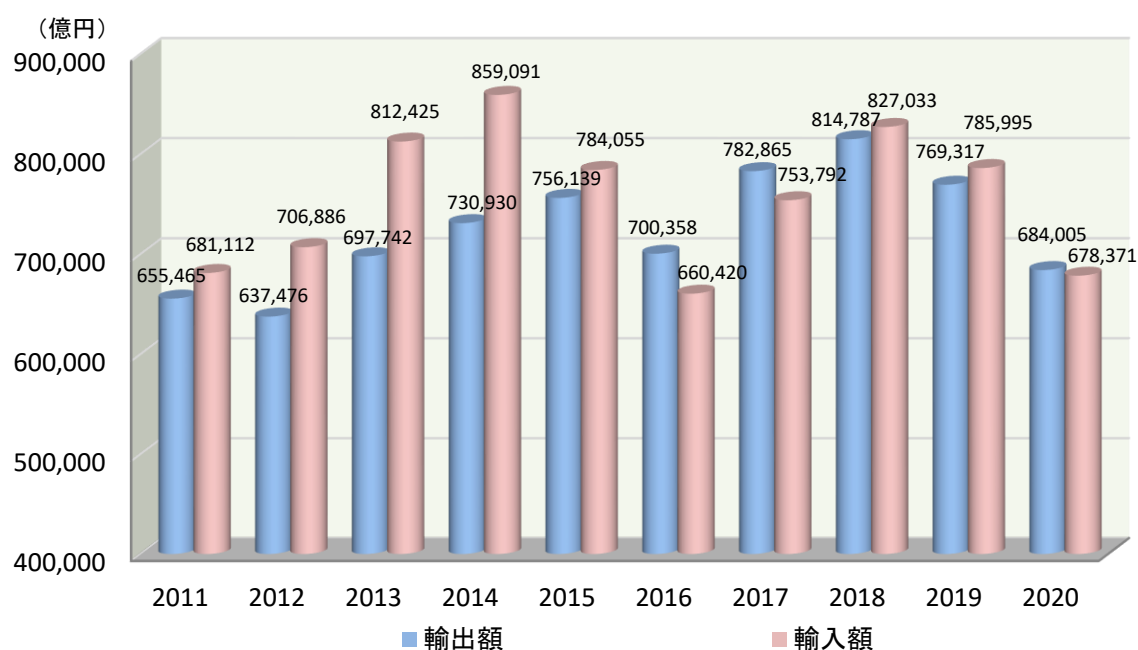


出所:財務省「貿易統計」

2. 全国の貿易の現状

2020年の全国の貿易額は、輸出が前年比11.1%減の68兆4,005億円、輸入が前年比13.7%減の67兆8,371億円となった。
貿易収支は、5,634億円の黒字となった。

図表2 全国の貿易額の推移

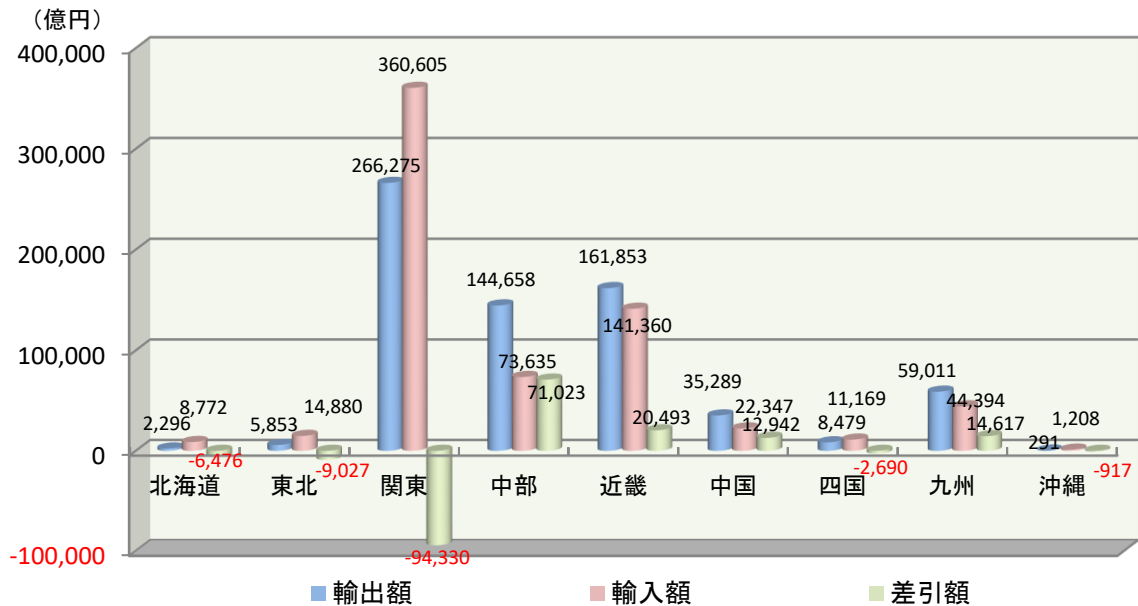


出所:財務省「貿易統計」

3. 全国の地域別貿易額

2020年の各地域別貿易額では、関東は輸出額で全国の38.9%、輸入額で53.2%を占めた。また、北海道は輸出額で全国の0.3%、輸入額で1.3%を占めた。輸出が輸入を上回っている地域は、中部、近畿、中国、九州であった。

図表3 全国の地域別(各経済産業省管轄地域別)の貿易額

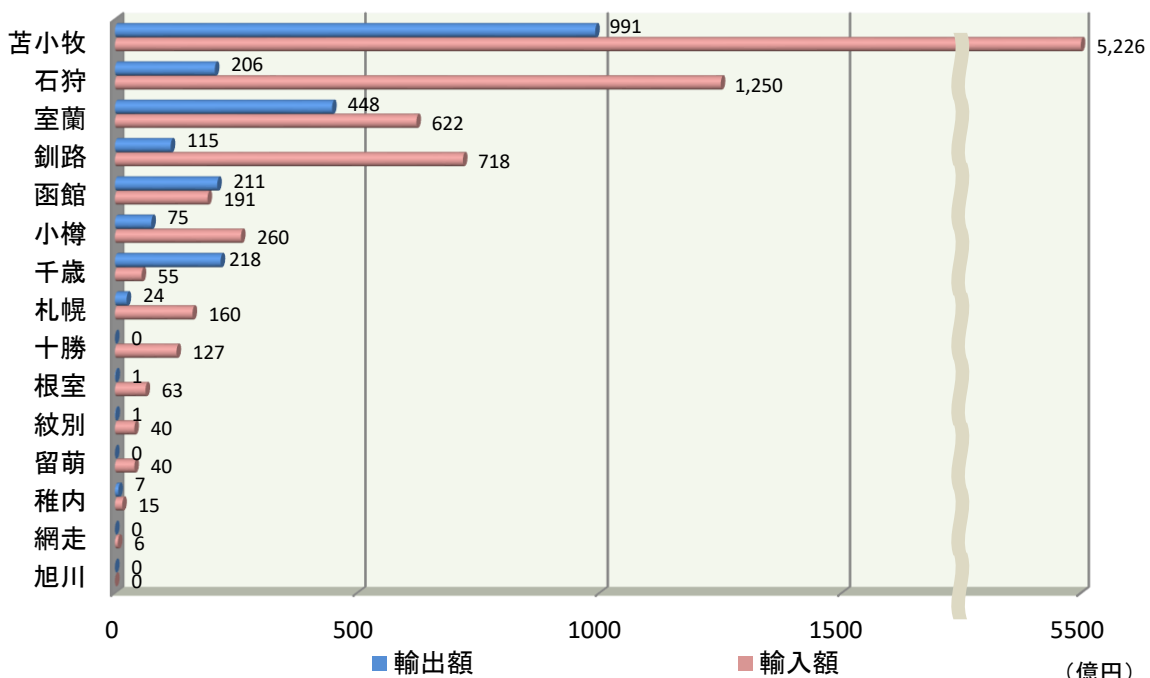


出所:財務省「貿易統計」

4. 北海道の通関官署別貿易額

2020年の北海道の通関官署別貿易額は苫小牧が最も多く、次いで石狩、室蘭の順となり、苫小牧と石狩の両官署で輸出額の52.1%、輸入額の73.8%を占めた。また、千歳と函館は輸出が輸入を上回ったが、後はすべての地域において輸入が輸出を上回った。

図表4 北海道の通関官署別の貿易額



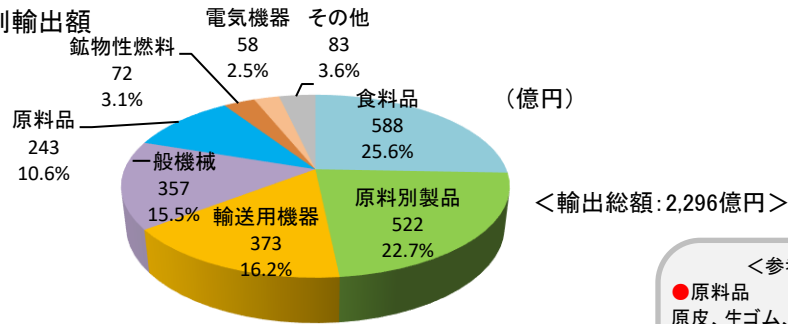
出所:財務省「貿易統計」

II. 貿易品目別の輸出入状況

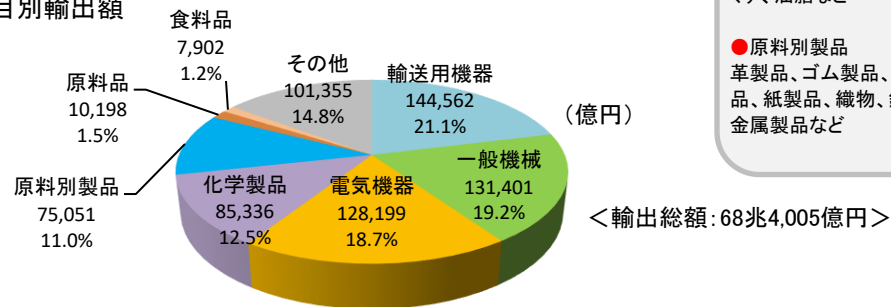
1. 品目別輸出額(北海道、全国)

2020年の北海道の品目別輸出額を見ると、食料品、原料別製品、輸送用機器、一般機械などが主な輸出品目となっている。
北海道は全国と比べ、食料品の割合が高く、電気機器の割合は低い。

図表5 北海道の品目別輸出額



図表6 全国の品目別輸出額



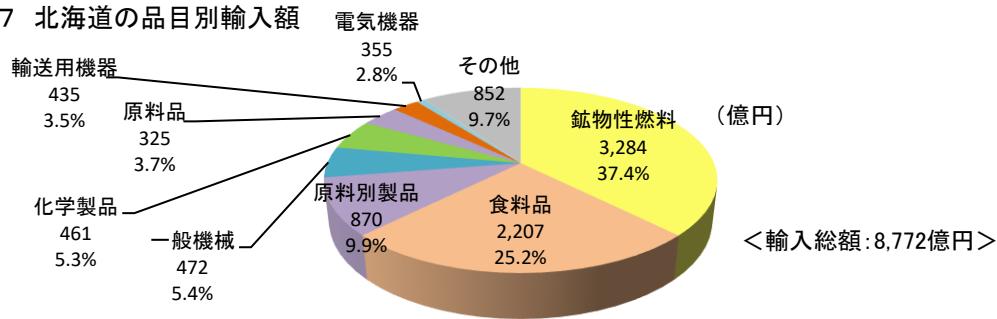
＜参考＞
●原料品
原皮、生ゴム、木材、パルプ、古紙、金属鉱、鉄鋼のくず、油脂など
●原料別製品
革製品、ゴム製品、木製品、紙製品、織物、鉄鋼、金属製品など

出所：財務省「貿易統計」

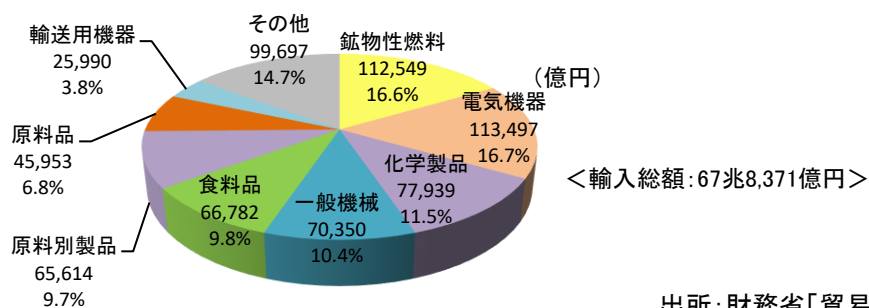
2. 品目別輸入額(北海道、全国)

2020年の北海道の品目別輸入額を見ると、鉱物性燃料、食料品が主な輸入品目となっており、これらを合計した構成比は約62.6%となる。
また、全国との比較では、鉱物性燃料の占める割合が約2.3倍となっている。

図表7 北海道の品目別輸入額



図表8 全国の品目別輸入額



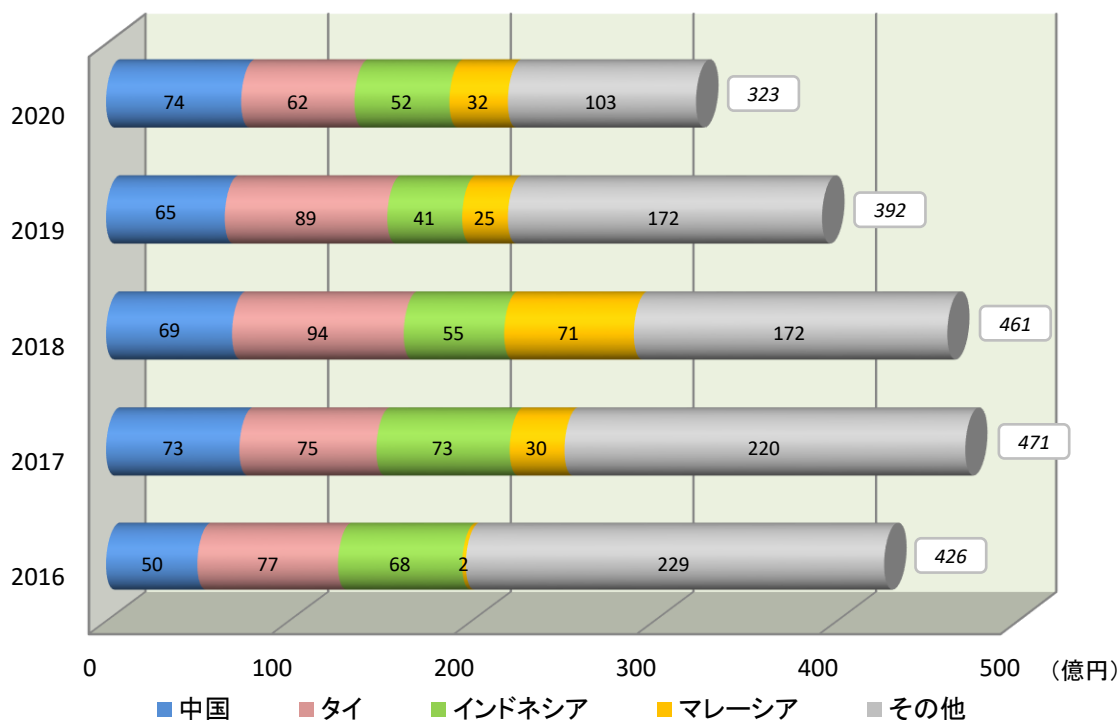
出所：財務省「貿易統計」

Ⅲ. 北海道の主な品目別貿易相手国・地域

1. 原料別製品の貿易相手国・地域

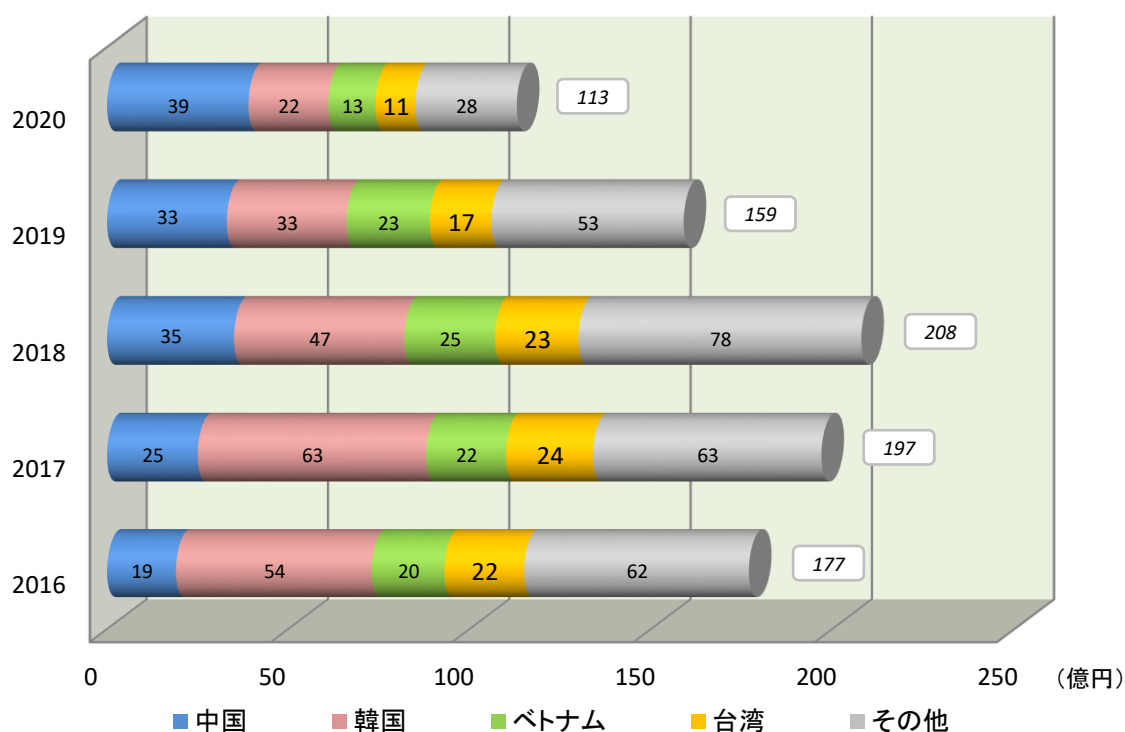
原料別製品の内訳は、「鉄鋼」と「紙類及び同製品」の合計で全体の約83%を占めている。「鉄鋼」は中国、タイ、インドネシアなど、「紙類及び同製品」は中国、韓国、ベトナムなどへ輸出されている。前年比は、「鉄鋼」は17.6%減、「紙類及び同製品」も28.9%減となった。

図表9 北海道における鉄鋼の輸出相手国・地域と輸出額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表10 北海道における紙類及び同製品輸出相手国・地域と輸出額の推移

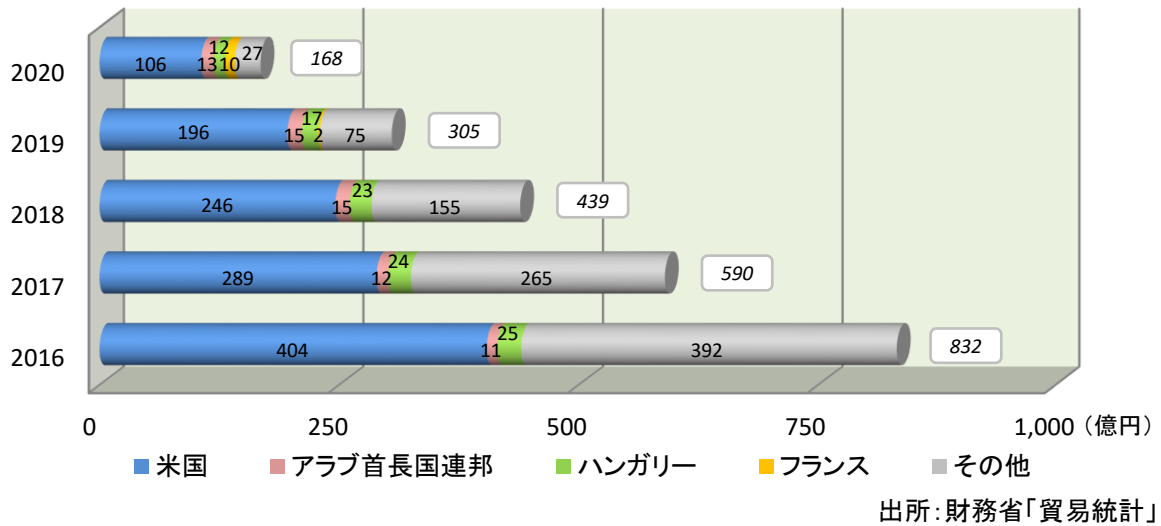


出所:財務省「貿易統計」

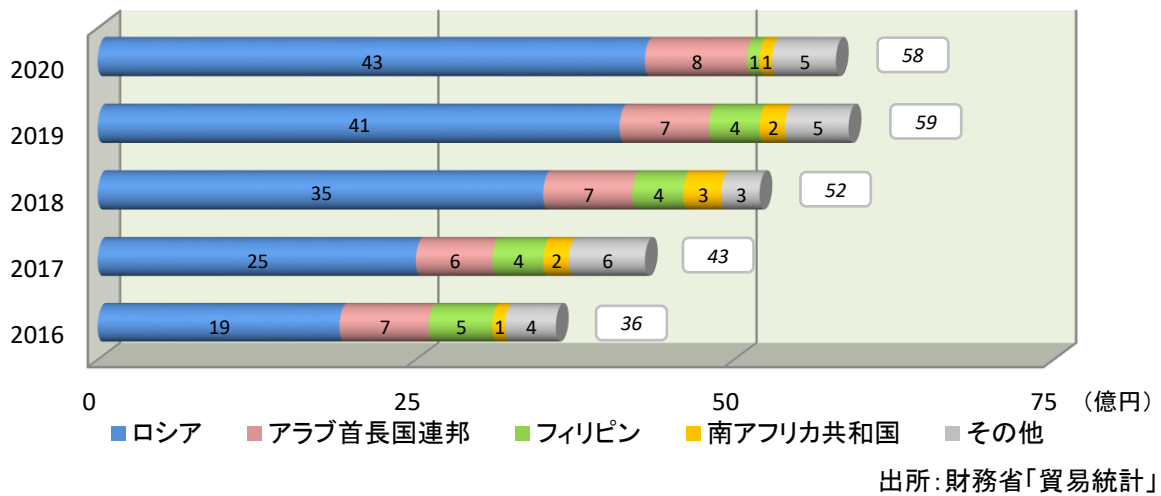
2. 輸送用機器の貿易相手国・地域

輸送用機器は、「自動車の部分品」が米国、アラブ首長国連邦などへ、「自動車」はロシア、アラブ首長国連邦などへ、「船舶」は香港、パナマ、リベリアなどへ輸出されている。前年比は、「自動車の部分品」44.9%減、「自動車」1.7%減、「船舶」9.8%減となった。

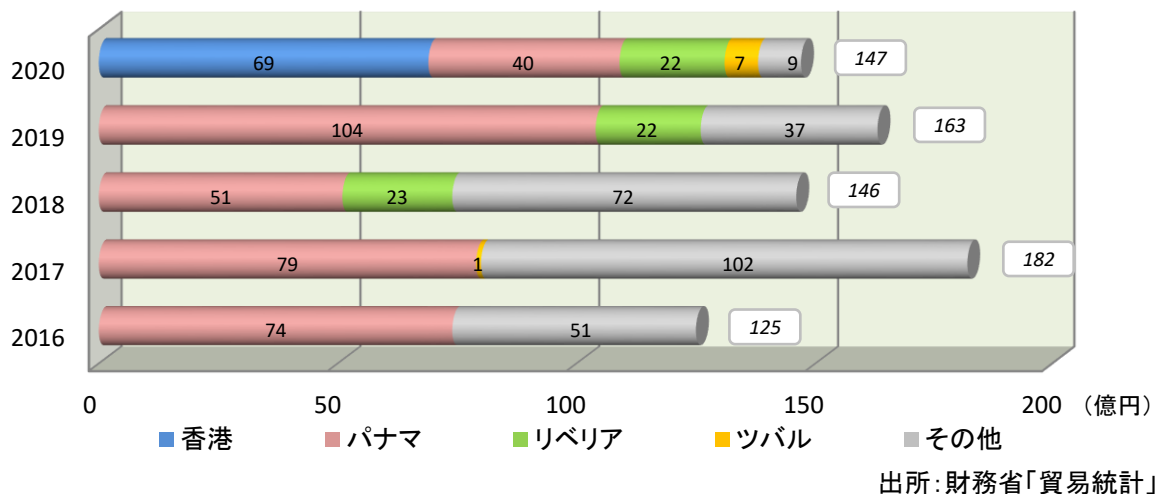
図表11 北海道における自動車部分品輸出相手国・地域と輸出額の推移



図表12 北海道における自動車輸出相手国・地域と輸出額の推移



図表13 北海道における船舶輸出相手国・地域と輸出額の推移

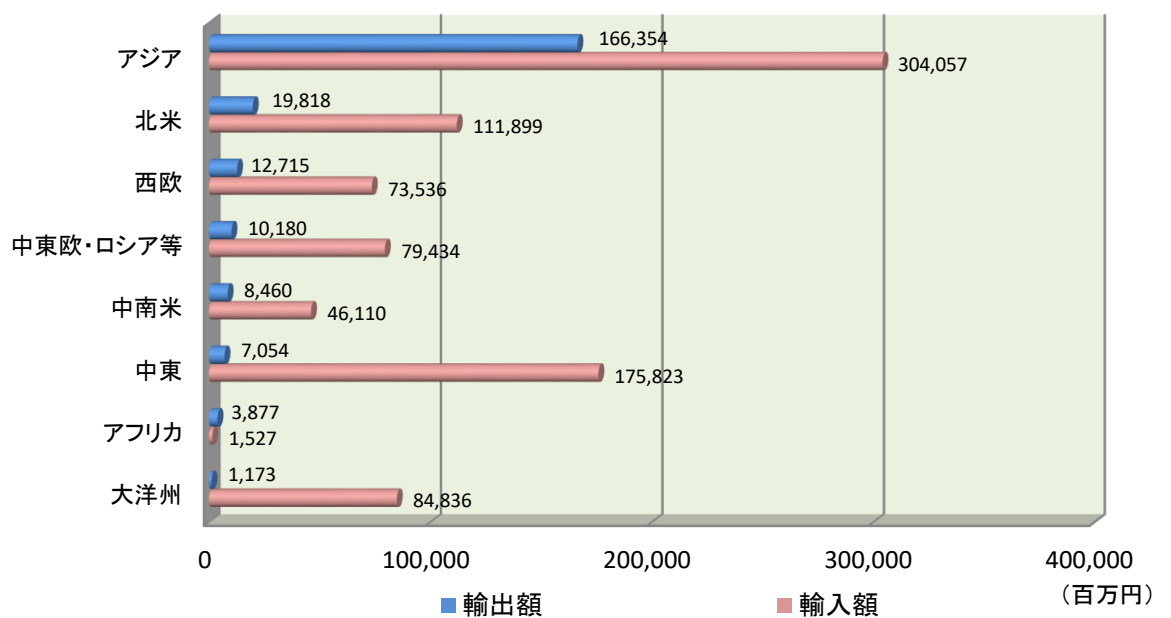


IV. 主な貿易相手地理圏、国・地域

1. 北海道の主な貿易相手地理圏

2020年の北海道の貿易相手地理圏は、輸出ではアジア向けが72.4%と大半を占めている。輸入でもアジア向けが34.7%で最も多く、次いで中東が20.0%、北米が12.8%となった。

図表14 北海道の貿易相手地理圏

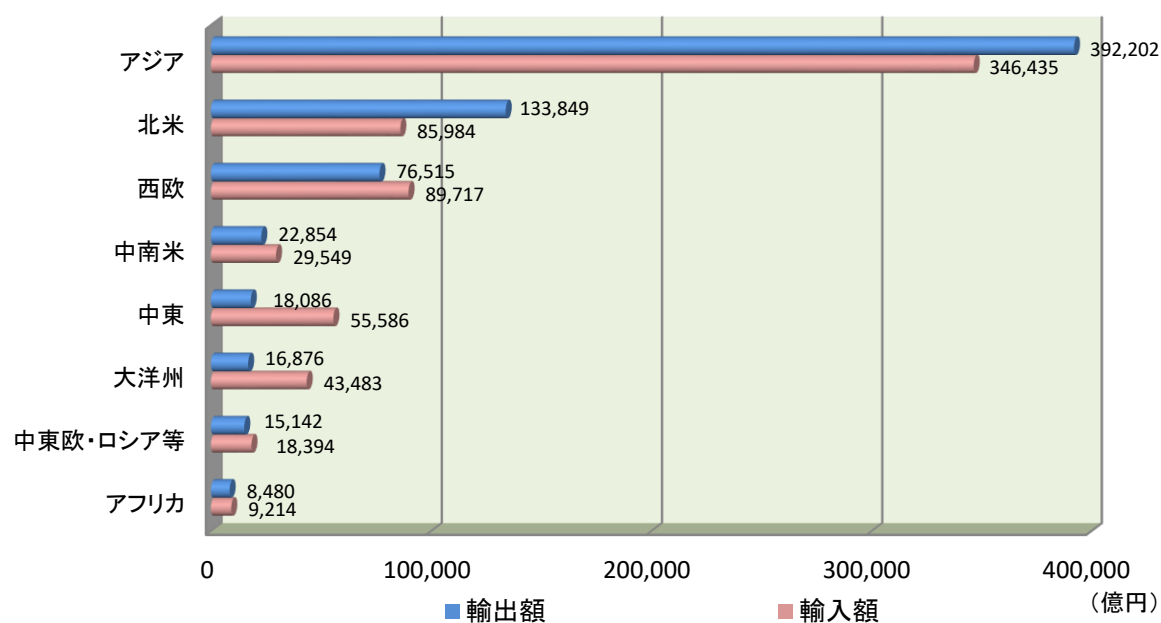


出所:財務省「貿易統計」

2. 全国の主な貿易相手地理圏

2020年の全国の貿易相手地理圏は、輸出入ともにアジアが中心となっており、輸出では57.3%、輸入では51.1%を占めている。

図表15 全国の貿易相手地理圏



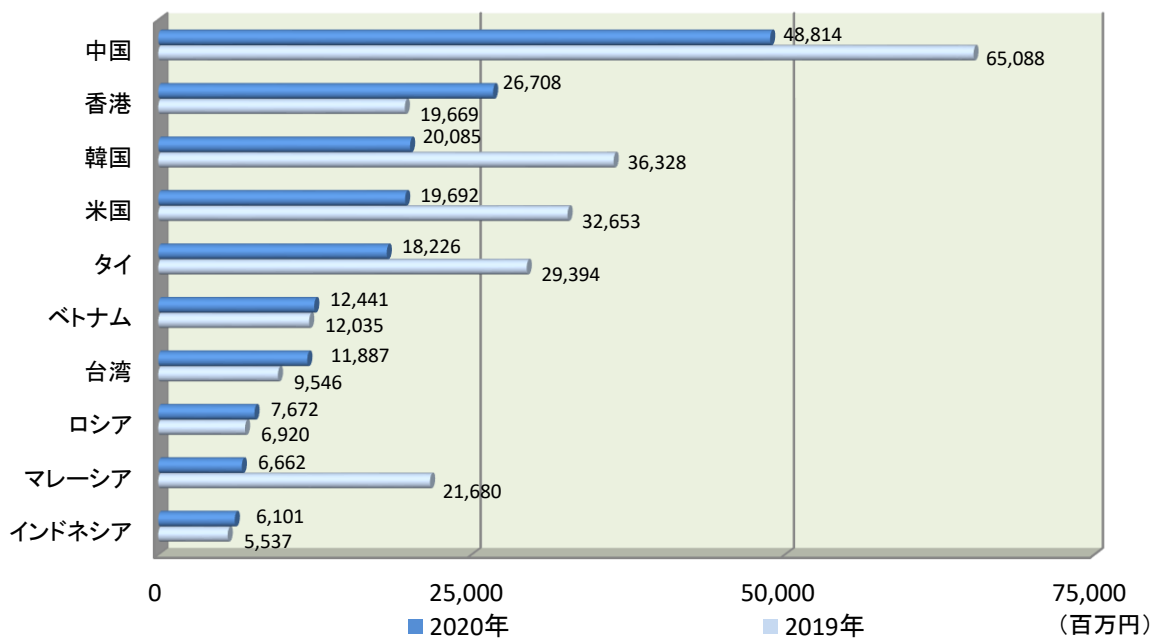
出所:財務省「貿易統計」

3. 北海道の主な貿易相手国・地域

①輸出

2020年の北海道の主な輸出相手先は中国が最も多く、次いで香港、韓国の順となっている。前年比はマレーシア(69.3%減)、韓国(44.6%減)、米国(39.7%減)、タイ(38.0%減)などで減少し、香港(35.8%増)、台湾(24.5%増)、ロシア(10.9%増)などで増加した。

図表16 北海道の主な輸出相手国・地域

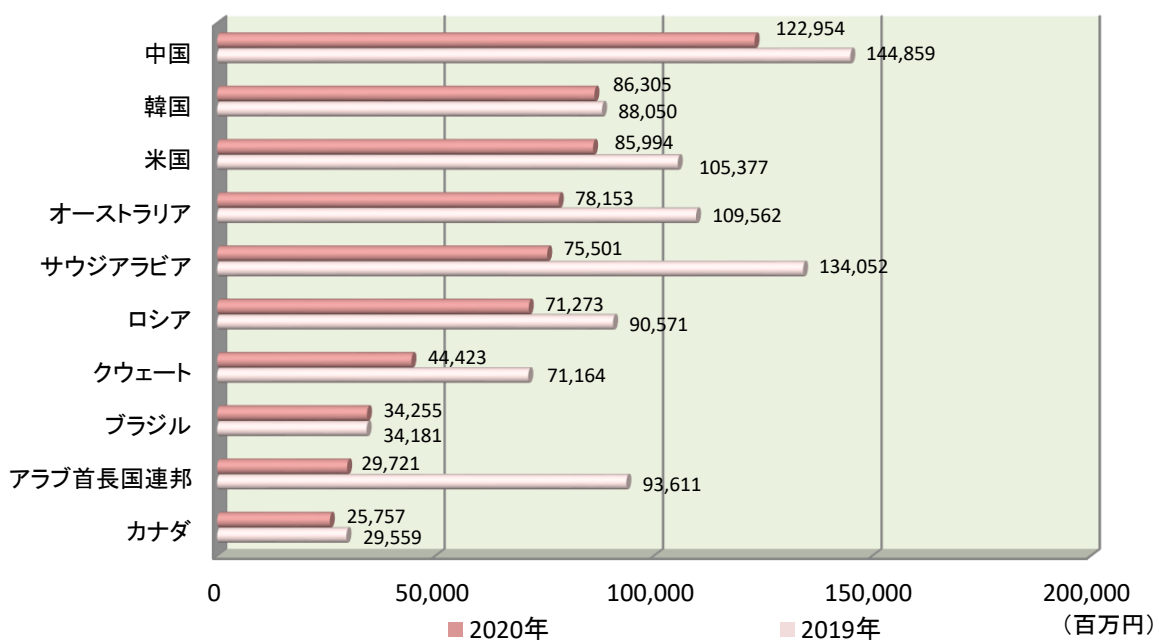


出所:財務省「貿易統計」

②輸入

2020年の北海道の主な輸入相手先は中国が最も多く、次いで韓国、米国の順となっている。前年比はアラブ首長国連邦(68.3%減)、サウジアラビア(43.7%減)、クウェート(37.6%減)、オーストラリア(28.7%減)などで減少し、ブラジル(0.2%増)が増加した。

図表17 北海道の主な輸入相手国・地域



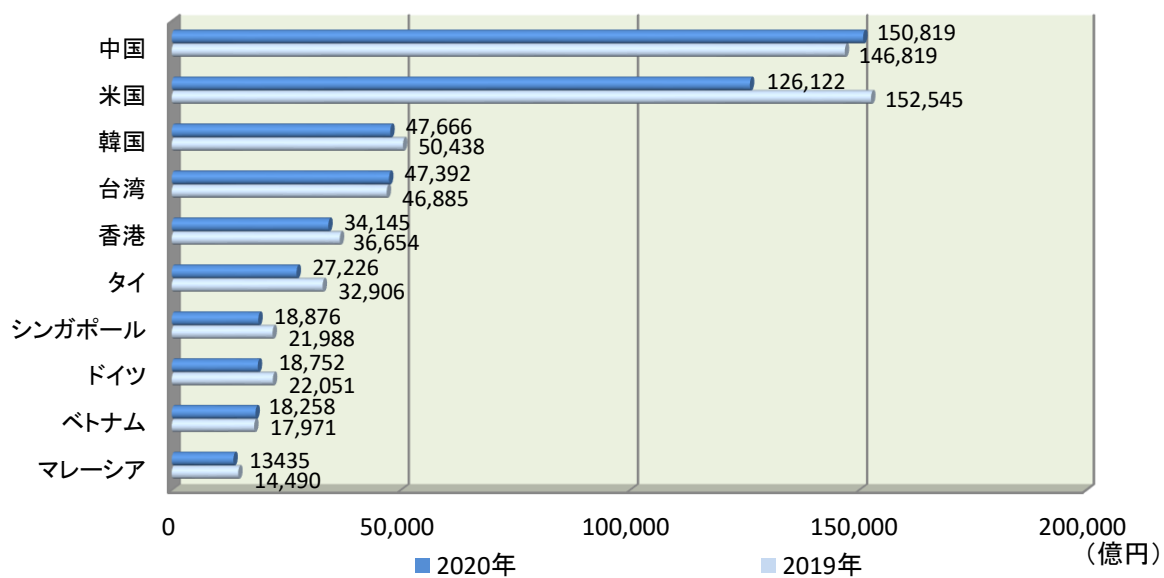
出所:財務省「貿易統計」

4. 全国の主な貿易相手国・地域

①輸出

2020年、全国の輸出相手先をみると中国が最も多く、次いで米国、韓国の順となっている。前年比は、米国(17.3%減)、タイ(17.3%減)、ドイツ(15.0%減)などで減少し、中国(2.7%増)、ベトナム(1.6%増)、台湾(1.1%増)が増加した。

図表18 全国の主な輸出相手国・地域

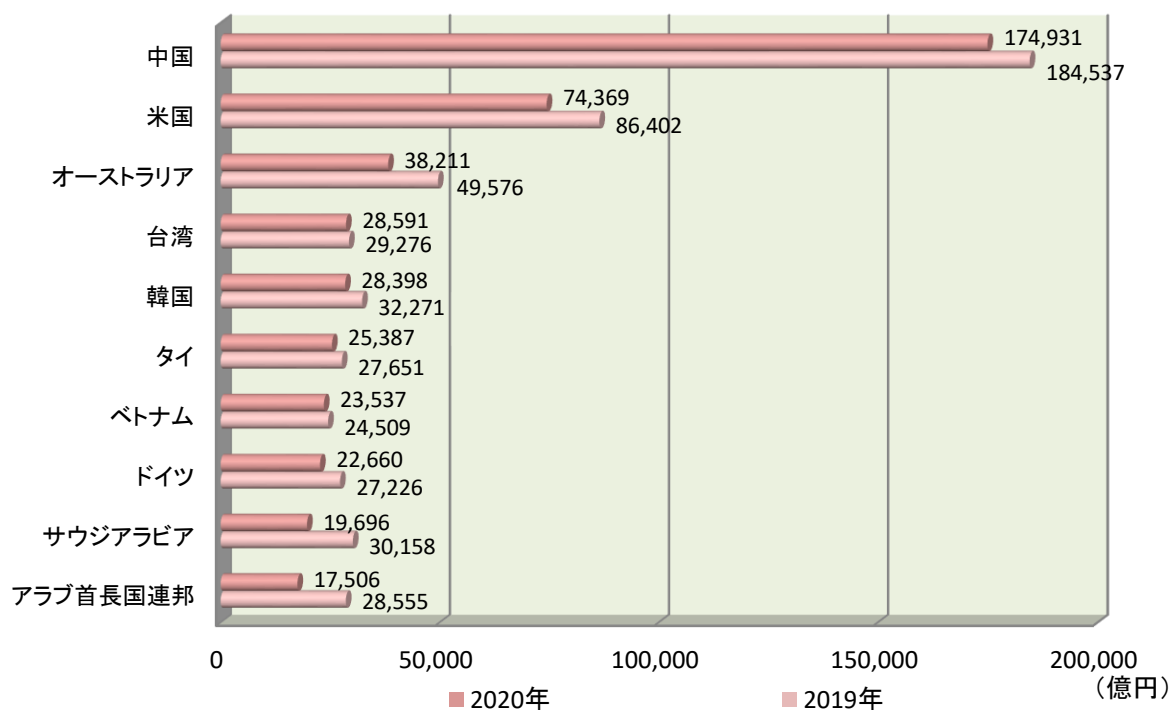


出所：財務省「貿易統計」

②輸入

2020年、全国の輸入相手先をみると中国が最も多く、次いで米国、オーストラリアの順となっている。前年比は、アラブ首長国連邦(38.7%減)、サウジアラビア(34.7%減)、オーストラリア(22.9%減)など、全ての主な輸入相手国・地域において減少した。

図表19 全国の主な輸入相手国・地域



出所：財務省「貿易統計」

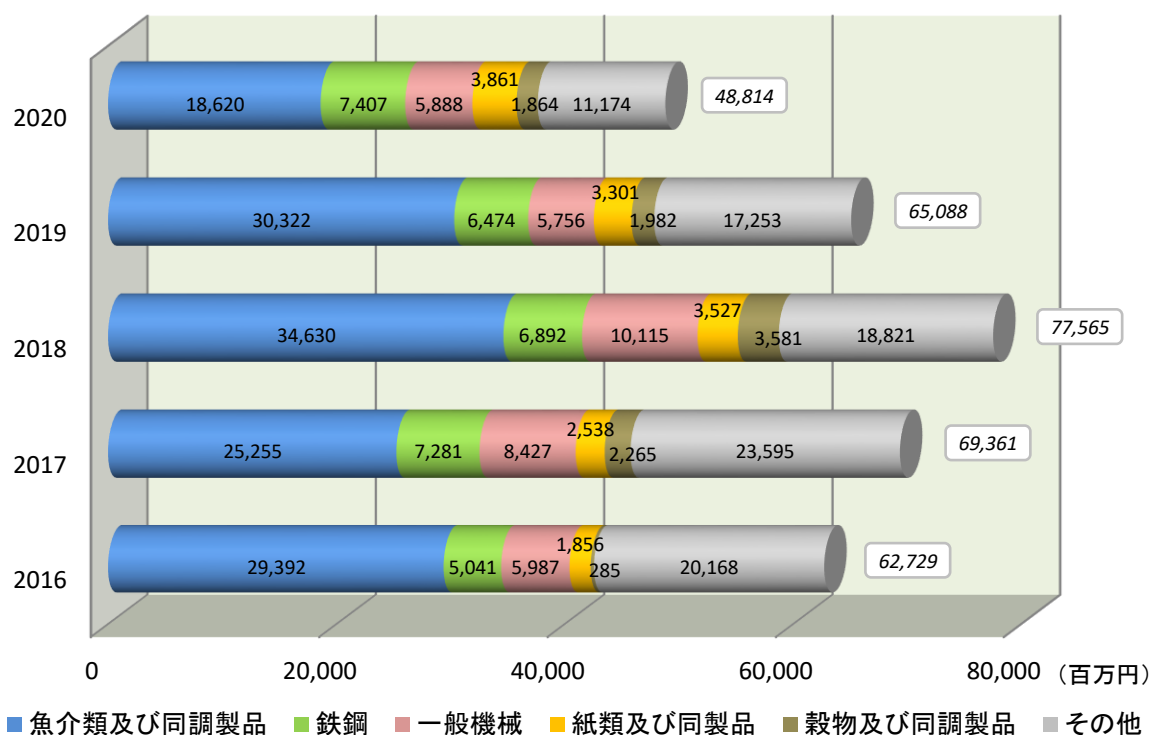
V. 北海道の主要貿易相手国・地域との貿易概況

1. 中国との貿易概況

①輸出

2020年の中国への輸出額は約488億円で、前年から約163億円減少した。主な輸出品は、魚介類及び同調製品、鉄鋼、一般機械となっている。

図表20 北海道における中国への輸出額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表21 北海道における輸出額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

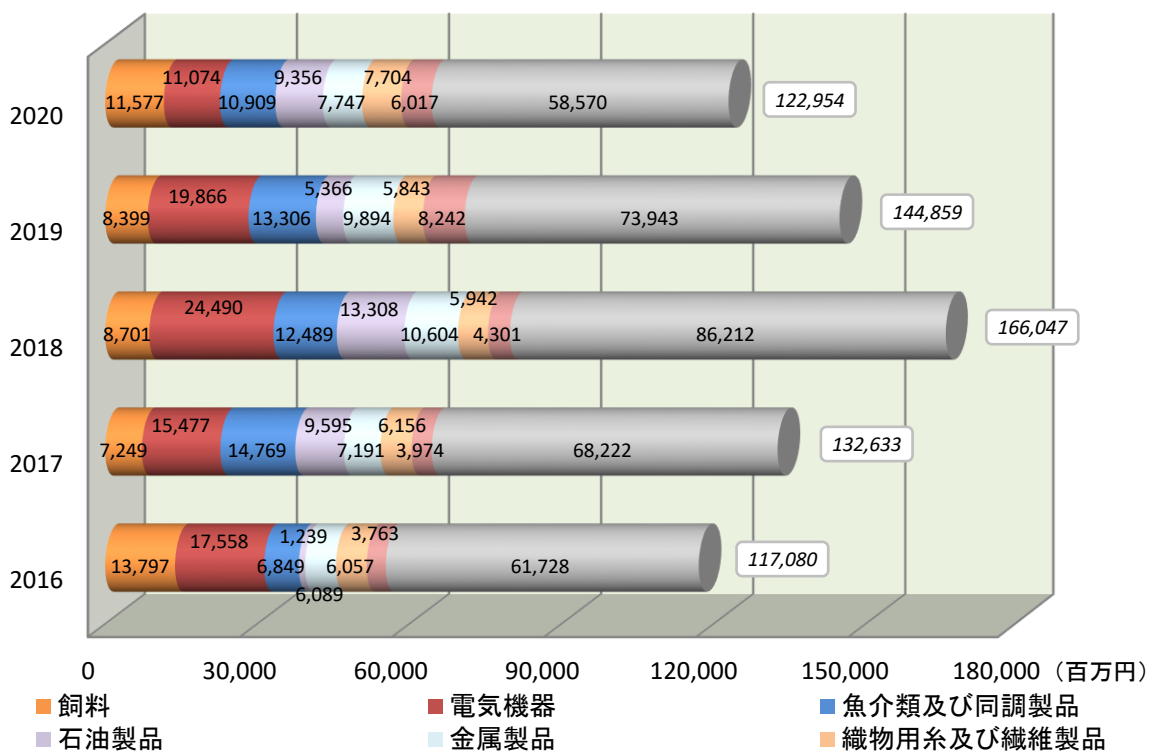
順位	品名	金額 (百万円)
1	スキヤロップ(いたやがい科のもの、ペクテン属、クラミユス属又はプラコペクテン属のもの及びいたや貝を除く)、冷凍したもの	12,737
2	その他の合金鋼のインゴットその他の一次形状のもの及び半製品	2,324
3	歯車	1,919
4	パン、ペーストリー、ケーキ、ビスケットその他のベーカリー製品及び聖さん用ウエハー、医療用に適するオブラート、シーリングウエハー、ライスペーパーその他のもの(クリスマスブレッド、ジンジャーブレッド、スイートビスケット、ワッフル及びウエハー、米菓を除く)	1,656
5	ブレーキ用、クラッチ用その他これらに類する用途に供する摩擦材料及びその製品のうち、石綿を含有するもの、ブレーキライニング及びブレーキパッドを除いたもの	1,393
6	蒸気タービン(部分品)	1,387
7	その他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る)、ばね鋼のもの	1,328
8	重油	1,224
9	スキヤロップ(いたやがい科のもの。ペクテン属、クラミユス属又はプラコペクテン属のもの及びいたや貝を除く)、生きているもの、生鮮のもの及び冷蔵したもの	1,026
10	その他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る)	953

出所:財務省「貿易統計」

②輸 入

2020年の中国からの輸入額は約1,230億円で、前年から約219億円減少した。
 主な輸入品は、飼料、電気機器、魚介類及び同調製品、金属製品、一般機械などとなっている。

図表22 北海道における中国からの輸入額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表23 北海道における輸入額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	灯油のうち、低重合度の混合アルキレン、ノルマルパラフィン、政令で定める石油化学製品の製造に使用するもの、ジェットエンジンの燃料用以外のもの	9,311
2	大豆油かす(粉砕してあるかないか又はペレット状であるかないかを問わない)	7,098
3	いか(調製品)	3,714
4	するめいか、アメリカおおあかいか、じんどういか、まついか及びほたるいか	3,555
5	光電池(モジュール又はパネルにしてあるかないかを問わない)	3,481
6	でん粉製造の際に生ずるかす、その他これに類するかす	3,424
7	マスク(紡織用繊維で、ドレスパターンを含むものとし、製品にしたものに限る)	3,110
8	精米(研磨してあるかないか又はつや出してあるかないかを問わない)	2,260
9	橋及び橋げた、塔及び格子柱、戸及び窓並びにこれらの枠並びに戸敷居、足場用、枠組み用又は支柱用の物品を除いた構造物及びその部分品	2,182
10	肥料成分(オルトリン酸水素ニアンモニウム・りん酸ニアンモニウム)	1,795

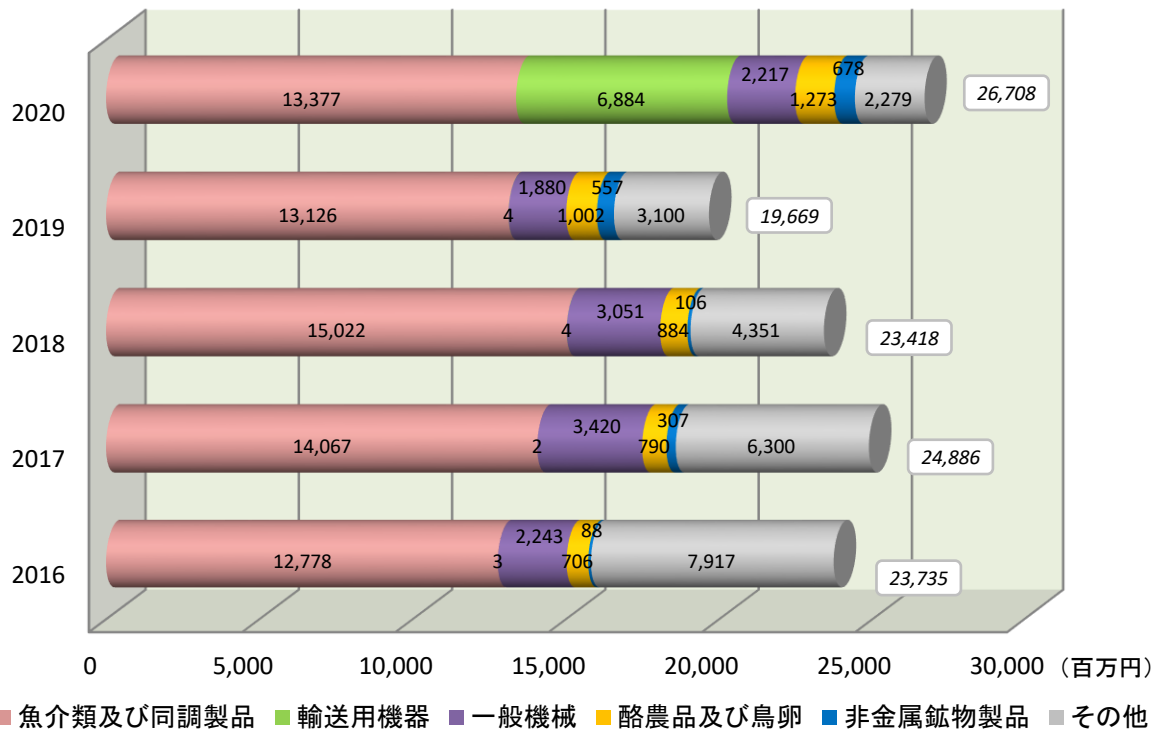
出所:財務省「貿易統計」

4. 香港との貿易概況

①輸出

2020年の香港への輸出額は約267億円で、前年から約70億円増加した。
主な輸出品は、魚介類及び同調製品、輸送用機器、一般機械などとなっている。

図表24 北海道における香港への輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表25 北海道における輸出額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

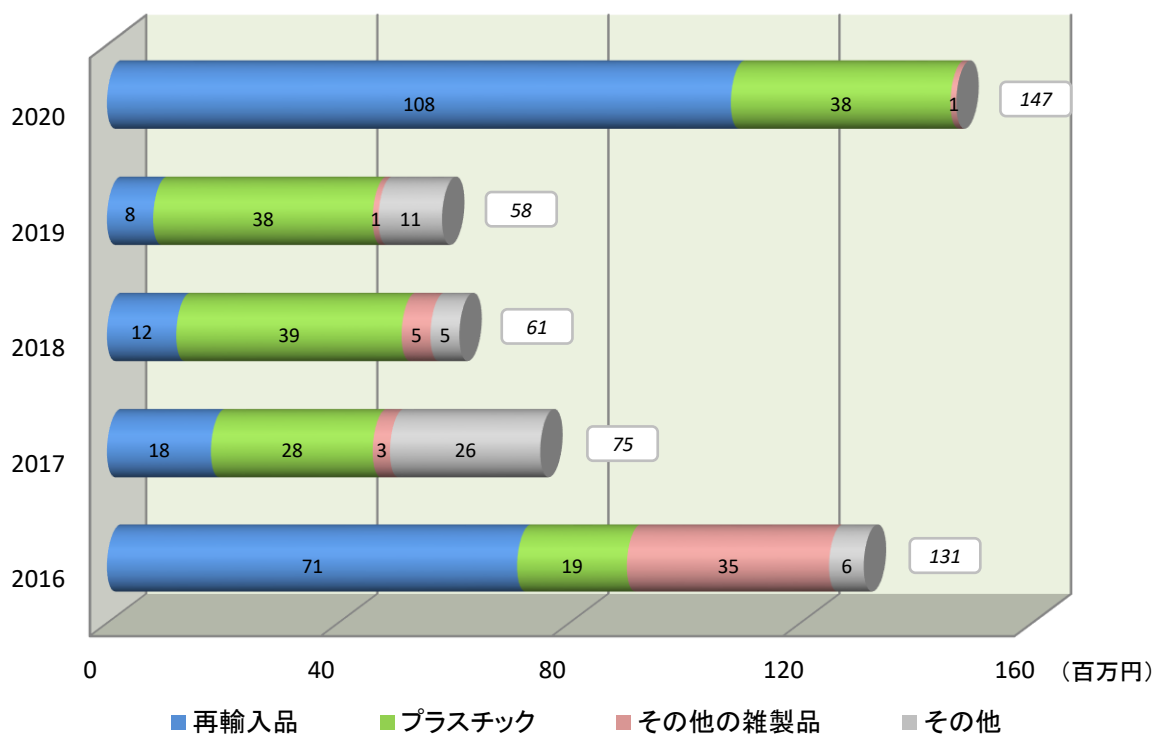
順位	品名	金額 (百万円)
1	なまこ(乾燥したもの以外)	7,251
2	その他の貨物船及び貨客船のうち、新造のもの	6,884
3	貝柱	2,514
4	ブルドーザー、アングルドーザー、地ならし機、スクレーパー、メカニカルショベル、エキスカベーター、ショベルローダー、突固め用機械及びロードローラー(中古のもの)	2,067
5	なまこ(乾燥したもの)	2,040
6	ミルク及びクリーム(濃縮若しくは乾燥をし又は砂糖その他の甘味料を加えたものを除く)	1,069
7	スキヤロップ(いたやがい科のもの、ペクテン属、クラミルス属又はプラコペクテン属のもの及びいたや貝を除く)生きているもの、生鮮のもの及び冷蔵したもの	813
8	白色セメント(人工着色をしてあるかないかを問わない)を除くポルトランドセメント	678
9	再輸出品	385
10	アンテナ及びアンテナ反射器並びにこれらに使用する部分品のうち、テレビジョン受信機用チューナー以外のもの	299

出所：財務省「貿易統計」

②輸 入

2020年の香港からの輸入額は約1億円で、前年から約9千万円増加した。
 主な輸入品は、再輸入品、プラスチック、その他の雑製品となっている。

図表26 北海道における香港からの輸入額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表27 北海道における輸入額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	再輸入品(総トン数が500t以上の船舶を除く)	108
2	塩化ビニル又は酢酸ビニルの重合体製のもの	38
3	書画	1
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—

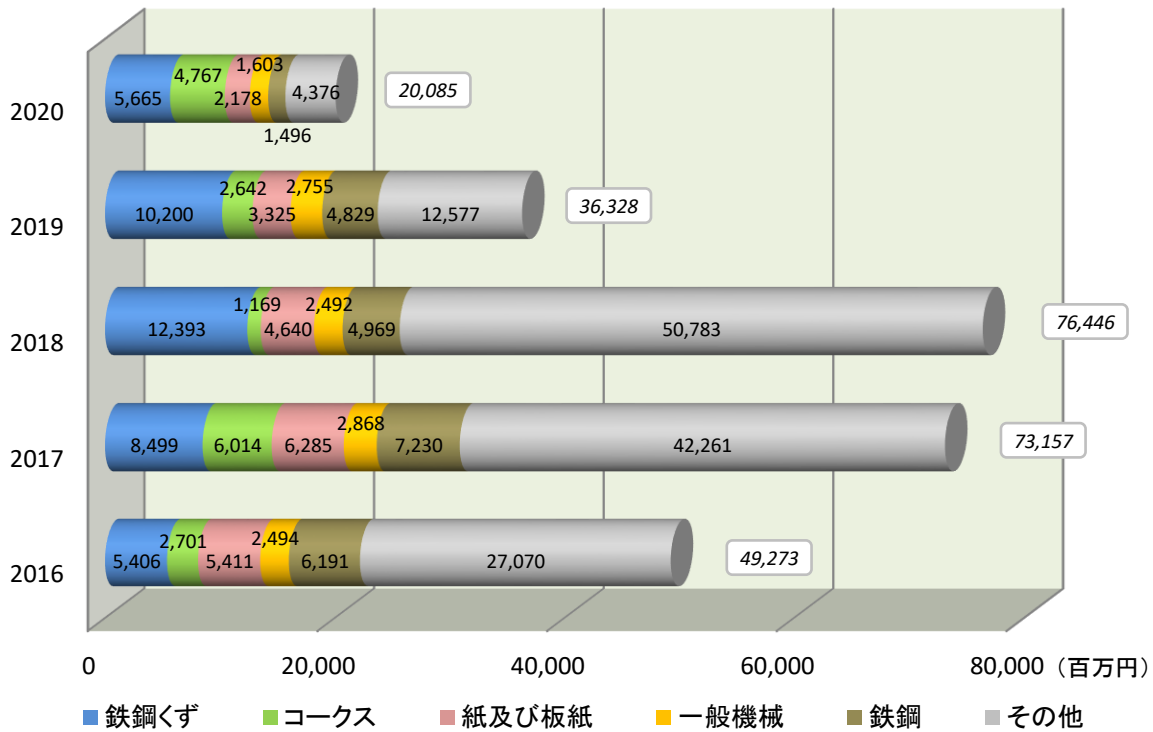
出所:財務省「貿易統計」

2. 韓国との貿易概況

①輸出

2020年の韓国への輸出額は約201億円で、前年から約162億円減少した。
主な輸出品は、鉄鋼くず、コークス、紙及び板紙、一般機械となっている。

図表28 北海道における韓国への輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表29 北海道における輸出額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	重油	3,743
2	鉄鋼のくず及び鉄鋼の再溶解用のインゴットのうちの、ヘビーくず	2,525
3	鉄鋼のくず及び鉄鋼の再溶解用のインゴットのうちの、シュレッダーくず	2,068
4	揮発油のうち、ピストン式内燃機関の燃料用を除いたもの	1,024
5	鉄又は非合金鋼のフラットロール製品 クラッドしたもの	713
6	アルミニウムのくず、アルミ缶のもの	690
7	鉄鋼のくず及び鉄鋼の再溶解用のインゴットのうちの、ヘビーくずとシュレッダーくずを除いたもの	671
8	重量が1平方メートルにつき150グラム以下の、その他の紙及び板紙（塗布してないものでロール状又はシート状のものに限る）	530
9	その他の合金鋼の棒（熱間圧延、熱間引抜き又は押し出しをしたものに限るものとし、更に加工したものを除く）、構造用合金鋼のもの	488
10	重量が1平方メートルにつき40グラム以上150グラム以下の印刷用紙及び筆記用紙（色付き以外のもの）	432

出所：財務省「貿易統計」

②輸入

2020年の韓国からの輸入額は約863億円で、前年から約17億円減少した。
 主な輸入品は、再輸入品、石油製品、鉄鋼、電気機器、一般機械となっている。

図表30 北海道における韓国からの輸入額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表31 北海道における輸入額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	再輸入品(マネタリーゴールド及び金貨を除く)のうち、総トン数が500トン以上の船舶以外のもの	50,082
2	灯油のうち、低重合度の混合アルキレン、ノルマルパラフィン、政令で定める石油化学製品の製造に使用するもの、ジェットエンジンの燃料用以外のもの	16,869
3	揮発油(軽質油及びその調製品)、航空機用・自動車燃料用のものを除く	1,548
4	その他の石油又は歴青油の残留物で、潤滑油を溶剤により精製する際に生ずる副抽出物(流動点が温度35度以下のものに限る)	1,338
5	その他の合金鋼のフラットロール製品(幅が600ミリメートル以上のものに限る)のうち、けい素電気鋼のもの、合金工具鋼、光速度鋼、酸洗いをしたものを除いたもの	1,122
6	軽質油及びその調製品、自動車の燃料用のもの	945
7	鉄又は非合金鋼のフラットロール製品(熱間圧延をしたもので幅が600ミリメートル以上のものに限るものとし、クラッドし、めつきし又は被覆したものを除く)、厚さが10ミリメートル以上50ミリメートル以下のもの	841
8	自動車用のクラッチ及びその部分品	816
9	電動機及び発電機及びロータリーコンバーターの機械に専ら又は主として使用する部分品	649
10	軽油(軽質油及びその調製品を除く、石油及び歴青油の調製品)のうち、政令で定める石油化学製品の製造に使用するものを除いたもの	552

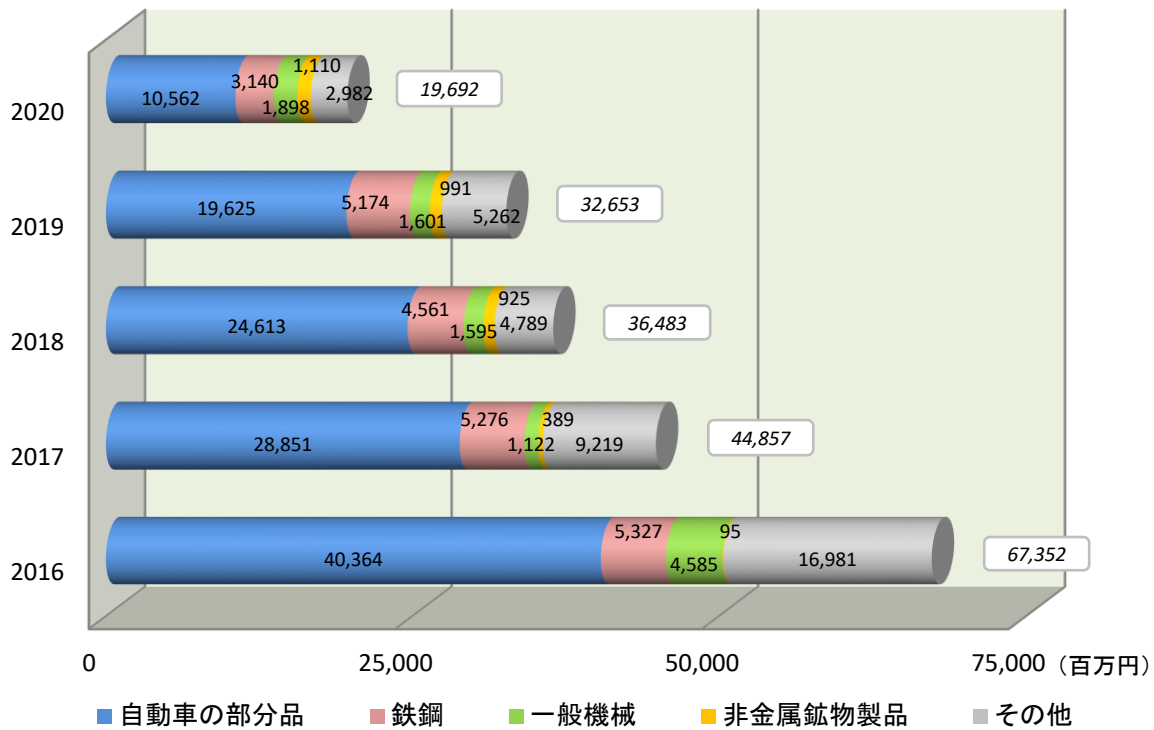
出所：財務省「貿易統計」

3. 米国との貿易概況

①輸出

2020年の米国への輸出額は約197億円で、前年から約130億円減少した。
主な輸出品は、自動車の部分品、鉄鋼、一般機械、非金属鉱物製品となっている。

図表32 北海道における米国への輸出額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表33 北海道における輸出額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

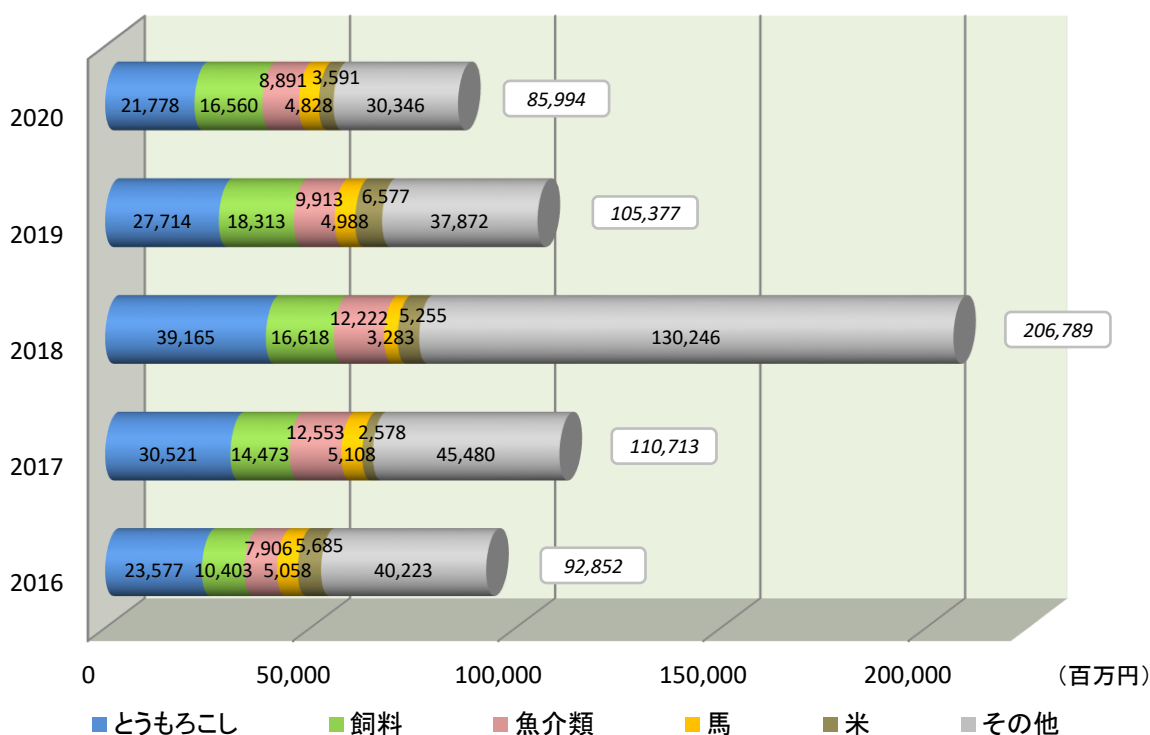
順位	品名	金額 (百万円)
1	自動車のギヤボックス及びその部分品	8,904
2	自動車のクラッチ及びその部分品	1,655
3	その他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る)、その他のもの	1,175
4	その他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る)、ばね鋼のもの	1,130
5	ブレーキ用、クラッチ用その他これらに類する用途に供する摩擦材料及びその製品(取り付けてないもので、石綿その他の鉱物性材料又は繊維素をもととしたものに限るものとし、紡織用繊維その他の材料と組み合わせてあるかないかを問わない)	1,093
6	スキヤロップ(いたやがい科のもの、ペクテン属、クラミユス属又はプラコペクテン属のもの及びいたや貝を除く)、冷凍したもの	758
7	自動データ処理機械及びこれを構成するユニット並びに磁気式又は光学式の読取機、データをデータ媒体に符号化して転記する機械及び符号化したデータを処理する機械(携帯用の自動データ処理機械、中央処理装置、入力装置及び出力装置を同一のハウジングに収納しているもの、処理装置、入力装置及び出力装置、記憶装置、その他の自動データ処理機械のユニットを除く)	743
8	歯車	452
9	ヤム芋(ディオスコレア属のもの)	391
10	玉軸受	387

出所:財務省「貿易統計」

②輸 入

2020年の米国からの輸入額は約860億円で、前年から約194億円減少した。
主な輸入品は、とうもろこし、飼料、魚介類、馬、米となっている。

図表34 北海道における米国からの輸入額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表35 北海道における輸入額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	とうもろこし(飼料用のもの)、税関の監督の下で飼料の原料として使用するもの	21,444
2	ルタバガ、飼料用のビートその他の飼料用の根菜類、飼料用の乾草、クローバー、セインホイン、飼料用のケール、ルーピン、ベッチその他これらに類する飼料用植物(ペレット状にしてあるかないかを問わない、キューブ状のものを除く)	6,188
3	醸造又は蒸留の際に生ずるかす	4,947
4	精米(研磨してあるかないか又はつや出してあるかないかを問わない)	3,553
5	大豆油かす(粉碎してあるかないか又はペレット状であるかないかを問わない)	3,107
6	魚の肝臓、魚の卵及びしらこ(にしんの卵、たら卵を除く)	2,883
7	小麦及びメスリン(デュラム小麦を除く)のうち、飼料用以外のもの	2,474
8	大豆(割つてあるかないかを問わない)、黄白色系のもののうち、播種用のものを除く	2,099
9	純粋種の繁殖用の馬、軽種馬及び軽種馬を除く	2,052
10	肥料(オルトリン酸二水素アンモニウム及びオルトリン酸二水素アンモニウムとオルトリン酸水素二アンモニウムとの混合物)	2,041

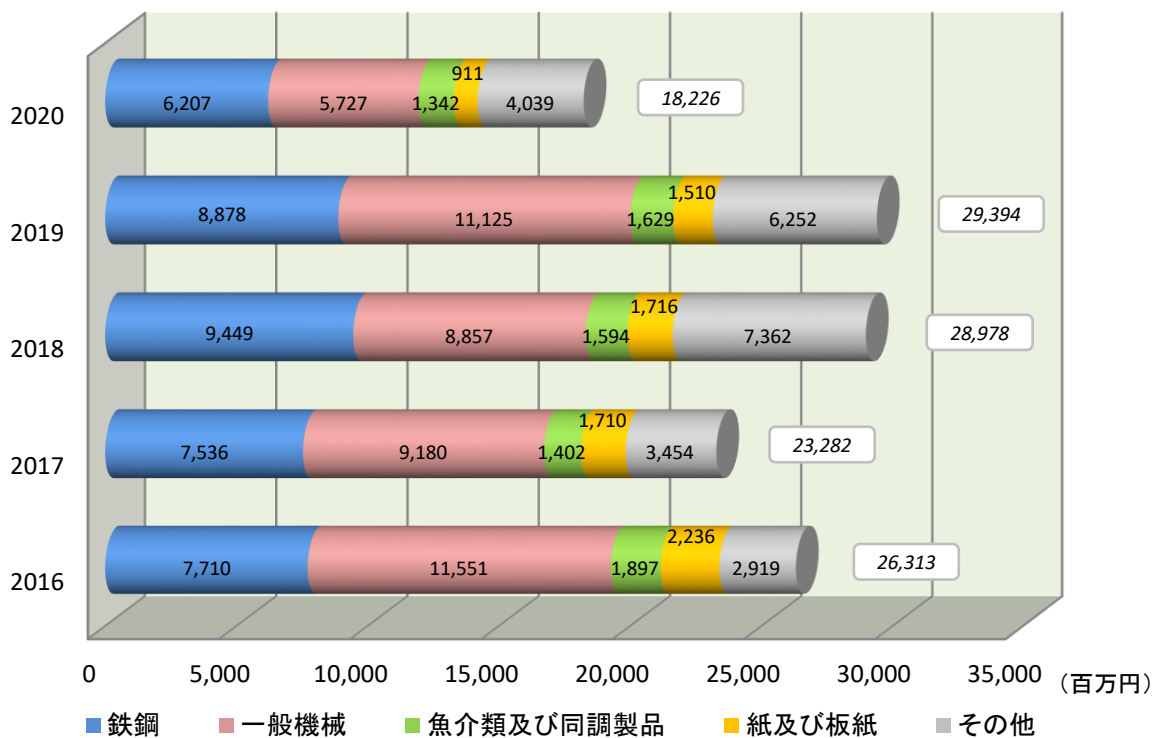
出所:財務省「貿易統計」

6. タイとの貿易概況

①輸出

2020年のタイへの輸出額は約182億円で、前年から約112億円減少した。
主な輸出品は、鉄鋼、一般機械、魚介類及び同調製品、紙及び板紙となっている。

図表36 北海道におけるタイへの輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表37 北海道における輸出額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

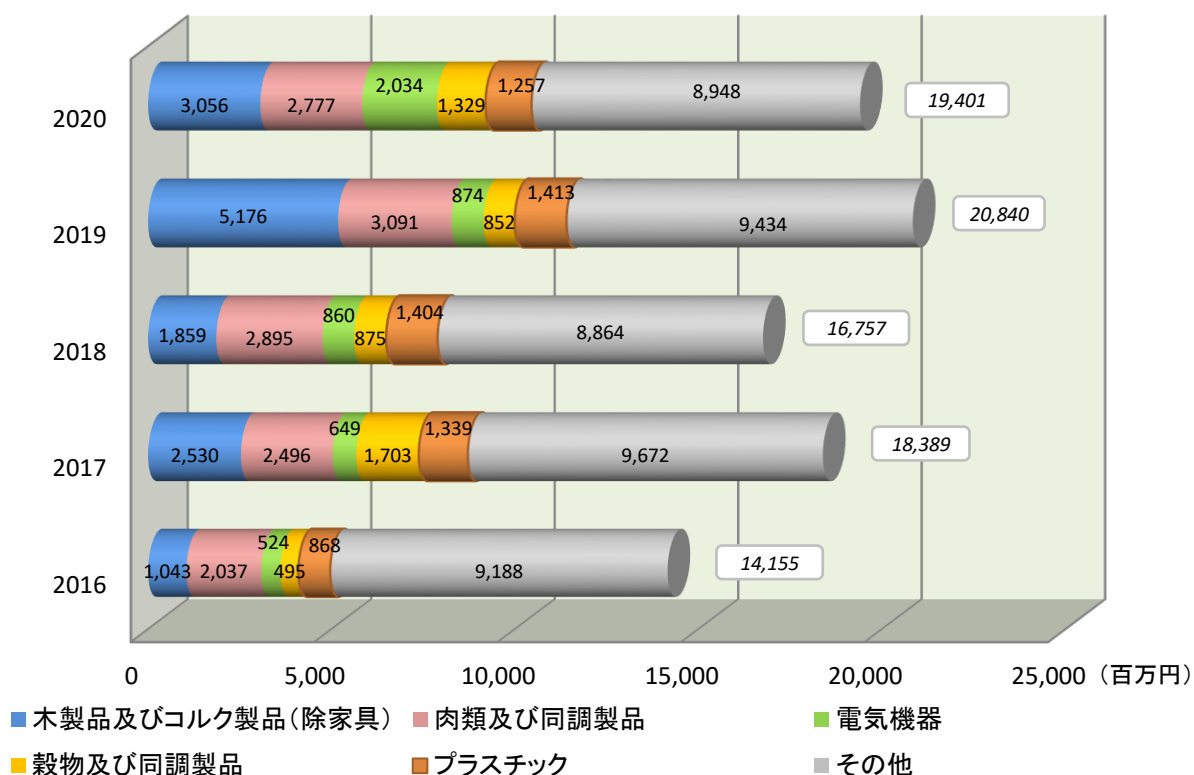
順位	品名	金額 (百万円)
1	第84.07項又は第84.08項のエンジンに専ら又は主として使用する部分品のうち、ピストン式火花点火内燃機関に専ら又は主として使用するもの以外のもの(第87類の車両用エンジンのもの、船舶推進用エンジンのものを除く)	3,486
2	その他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る)、その他のもの	2,083
3	わら用又は牧草用のベラー(ピックアップベラーを含む)	1,071
4	鉄又は非合金鋼のその他の棒のうち、鍛造したものを除く、その他のもの(非合金快削鋼のものに限る)炭素の含有量が全重量の0.25%以上0.6%未満のもので、機械構造用炭素鋼のもの	953
5	冷凍した魚のうち、さけ科、べにざけを除くその他の太平洋さけ	782
6	客船、遊覧船その他これらに類する船舶(主として人員の輸送用に設計したものに限る)及びフェリーボート	626
7	その他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る)、構造用合金鋼のもの	577
8	その他の合金鋼の棒(熱間圧延、熱間引抜き又は押し出しをしたものに限るものとし、更に加工したものを除く)、快削鋼のもの	538
9	再輸出品	485
10	磁器製を除く、その他の陶磁製品	450

出所：財務省「貿易統計」

②輸 入

2020年のタイからの輸入額は約194億円で、前年から約14億円減少した。
 主な輸入品は、木製品及びコルク製品(除家具)、肉類及び同調製品、電気機器などとなっている。

図表38 北海道におけるタイからの輸入額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表39 北海道における輸入額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	針葉樹以外のチップ状又は小片状の木材	3,018
2	家きんのものうち、七面鳥、鶏(ガルルス・ドメスティクス)、牛若しくは豚の肉又は牛若しくは豚のくず肉を含有するもの	2,341
3	精米(研磨してあるかないか又はつや出してあるかないかを問わない)	1,290
4	デキストリンその他の変性でん粉のうち、エステル化でん粉その他のでん粉誘導体	980
5	糖みつ(砂糖の抽出又は精製の際に生ずるものに限る)のうち、甘しや糖みつを除いた飼料用のもの(税関の監督の下で飼料の原料として使用するものに限る)	799
6	トランスフォーマー(絶縁性の液体を使用するものに限る)のうち、容量が10,000キロボルトアンペアを超えるもの口	627
7	冷凍冷蔵庫(それぞれ独立した外部扉を有するものに限る)	588
8	注射器、針、カテーテル、カニューレその他これらに類する物品のうち、金属製の管針及び縫合用の針以外のもの(外科用のものを除く)	474
9	注射器、針、カテーテル、カニューレその他これらに類する物品のうち、金属製の管針及び縫合用の針	464
10	比重が0.94以上のポリエチレンのうち、バイオポリエチレン以外のもの	406

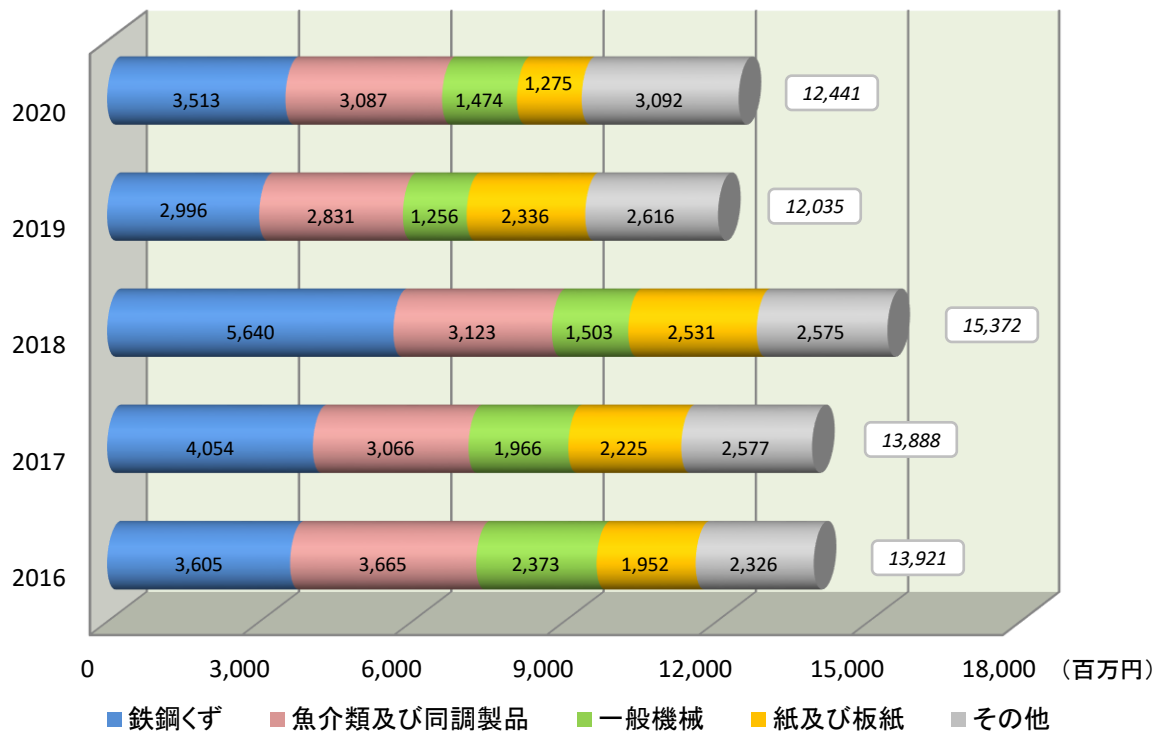
出所:財務省「貿易統計」

7. ベトナムとの貿易概況

①輸出

2020年のベトナムへの輸出額は約124億円で、前年から約4億円増加した。
 主な輸出品は、鉄鋼くず、魚介類及び同調製品、一般機械、紙及び板紙となっている。

図表40 北海道におけるベトナムへの輸出額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表41 北海道における輸出額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

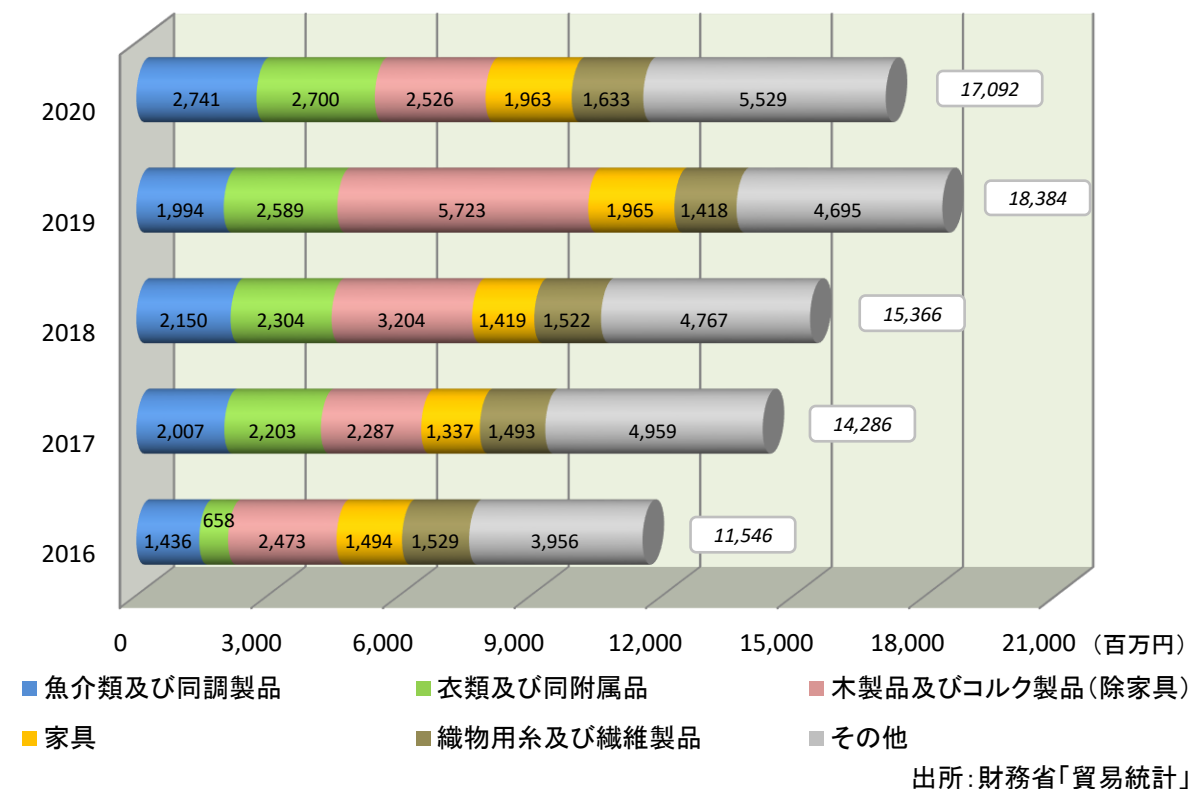
順位	品名	金額 (百万円)
1	鉄鋼のくず及び鉄鋼の再溶解用のインゴットのうちの、ヘビーくず	2,699
2	冷凍した魚のうち、さけ科、べにざけを除くその他の太平洋さけ	1,623
3	重量が1平方メートルにつき150グラムを超える段ボール用中芯原紙	566
4	乳幼児用の麦芽エキス並びに穀粉、ひき割り穀物、ミール、でん粉又は麦芽エキスの調製食料品(小売用にしたものに限る)	539
5	上部構造が360度回転するメカニカルショベル、エキスカベーター及びショベルローダーのうち、中古の6トン以上の油圧式のもの	493
6	再輸出品	420
7	鉄鋼のくず及び鉄鋼の再溶解用のインゴットのうちの、シュレッダーくず	411
8	冷凍した魚のうち、ぶり(セリオーラ属のもの)	411
9	鉄鋼のくず及び鉄鋼の再溶解用のインゴットのうちの、ヘビーくずとシュレッダーくずを除いたもの	403
10	アクリル重合体(一次製品に限る)のうち、ポリ(メタクリル酸メチル)以外のもの	311

出所:財務省「貿易統計」

②輸 入

2020年のベトナムからの輸入額は約171億円で、前年から約13億円減少した。主な輸入品は、魚介類及び同調製品、衣類及び同附属品、木製品及びコルク製品(除家具)などとなっている。

図表42 北海道におけるベトナムからの輸入額の推移



図表43 北海道における輸入額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	針葉樹以外のチップ状又は小片状の木材	2,347
2	気密容器入りのもの以外のさけ	1,573
3	注射器、針、カテーテル、カニューレその他これらに類する物品のうち、金属製の管針及び縫合用の針以外のもの(外科用のものを除く)	768
4	木質ペレット以外ののこくず及び木くず(棒状、ブリケット状、ペレット状その他これらに類する形状に凝結させたものに限る)	715
5	フレキシブルコンテナ	654
6	漁網のうち、合成繊維製以外の結び網地及び結び網(ひも又は綱から製造したものに限る)	631
7	容量が650キロボルトアンペアを超え10,000キロボルトアンペア以下のトランスフォーマー(絶縁性の液体を使用するものに限る)	521
8	セルラーラバー製又は多泡性プラスチック製以外のマットレス	444
9	仏壇を除くその他の棚付き家具(食器棚及び本箱を除く。掛け若しくは壁に取り付けて又は一方の上に他方を載せて使用するよう設計したものに限る)	419
10	冷凍したたこ(オクトプス属のもの)	313

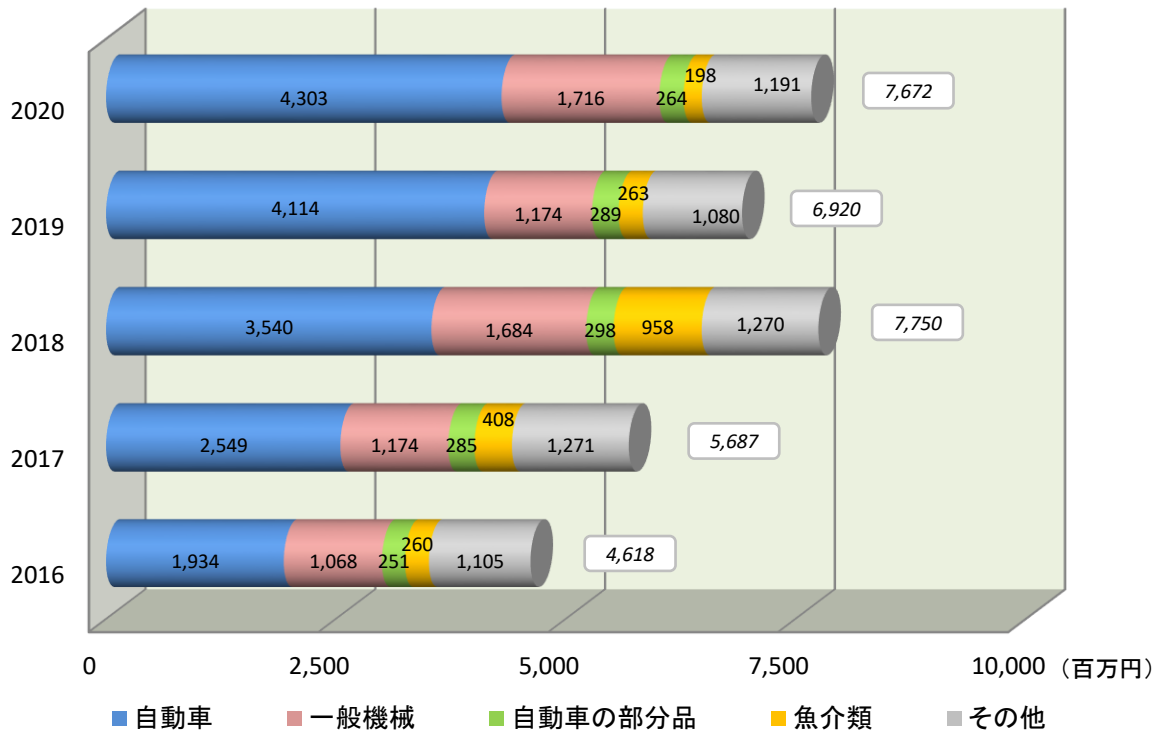
出所:財務省「貿易統計」

5. ロシアとの貿易概況

①輸出

2020年のロシアへの輸出額は約77億円で、前年から約8億円増加した。
主な輸出品は自動車、一般機械、自動車の部品、魚介類となっている。

図表44 北海道におけるロシアへの輸出額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表45 北海道における輸出額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

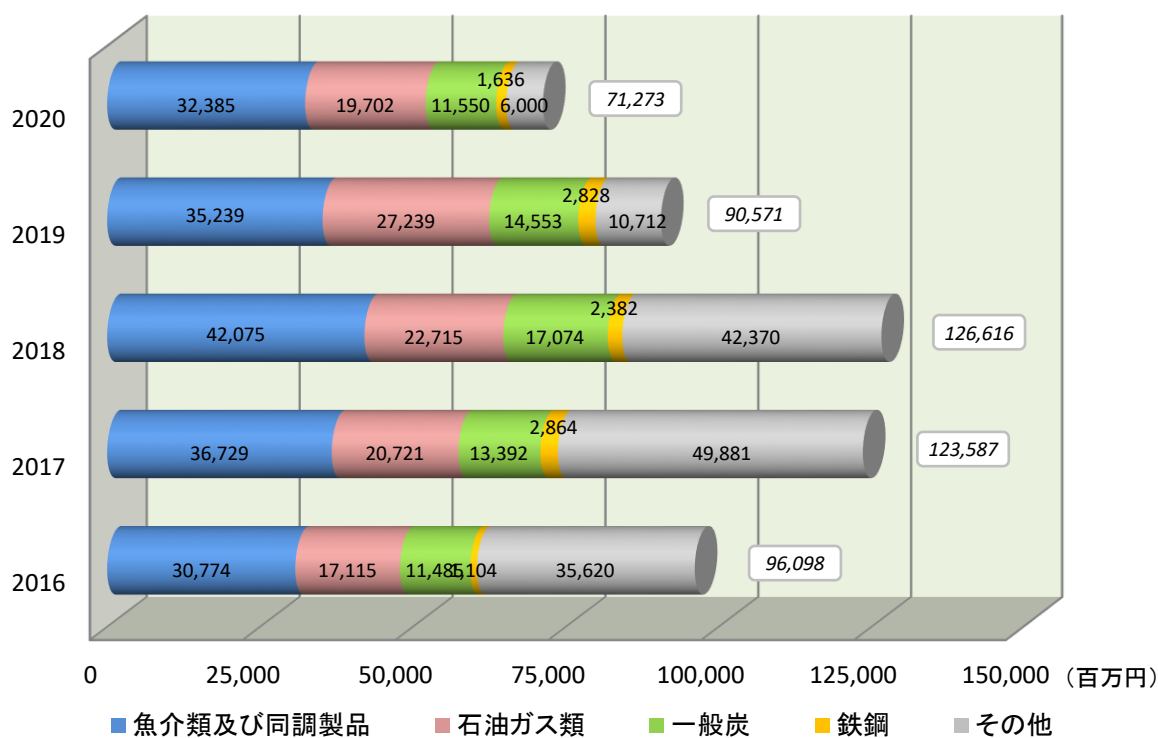
順位	品名	金額 (百万円)
1	中古の乗用自動車(シリンダー容積が1,000立方センチメートルを超え1,500立方センチメートル以下のもの)	1,429
2	中古の乗用自動車(シリンダー容積が1,500立方センチメートルを超え3,000立方センチメートル以下のもの)	1,036
3	中古の乗用自動車(駆動原動機としてピストン式火花点火内燃機関及び電動機を搭載したもの)	682
4	加熱処理・冷却処理による方法で材料を処理する機器(家庭用のものを除く)並びに瞬間湯沸器及び貯蔵式湯沸器、の部分品	481
5	飲食料品の調製業用又は製造業用の機械(魚の調製用機械)	421
6	中古の乗用自動車(シリンダー容積が2,000立方センチメートルを超えるもの)	385
7	ピストン式火花点火内燃機関(往復動機関及びロータリーエンジンに限る)、シリンダー容積が1,000立方センチメートルを超えるもの	339
8	総トン数が500トン以上の船舶を除く再輸出品(マネタリーゴールド及び金貨を除く)	192
9	すけそうだら(テラグラ・カルコグラマ)、すり身	178
10	中古の乗用自動車(シリンダー容積が2,500立方センチメートルを超えるもの)	135

出所:財務省「貿易統計」

②輸 入

2020年のロシアからの輸入額は約712億円で、前年から約193億円減少した。
主な輸入品は、魚介類及び同調製品、石油ガス類、石油ガス類、一般炭、鉄鋼となっている。

図表46 北海道におけるロシアからの輸入額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表47 北海道における輸入額上位10細目品(2020年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	天然ガス(液化したもの)	19,702
2	歴青炭(灰分の含有量が乾燥状態において全重量の8%以下のものを除く)、コークス用を除く	10,261
3	生きたうに(パラケントロトウス・リヴィドウス、ロクセキヌス・アルプス、エキヌス・エスクレントウス及びストロンギョロケントロトウス属のもの)	7,965
4	魚の肝臓、魚の卵及びしらこ(にしんの卵、たら卵を除く)	7,258
5	冷凍のコールドウォーターシュリンプ及びコールドウォータープローン(クランゴン・クランゴン及びパンダルス属のもの)	3,766
6	冷凍のたらばがに	2,166
7	冷凍のずわいがに	1,763
8	冷凍のいか(するめいか(トダロデス・パキフィクス)、アメリカおおあかい(ドンディクス・ギガス)、じんどういか(ロリオルス属のもの)、まついか(イルレクス属のもの)、ほたるいか(ワタセニア・スキントイルランス)	1,487
9	歴青炭(灰分の含有量が乾燥状態において全重量の8%以下のもの)、強粘結性ではないコークス用炭	1,455
10	アルミニウム合金(塊)	1,377

出所：財務省「貿易統計」

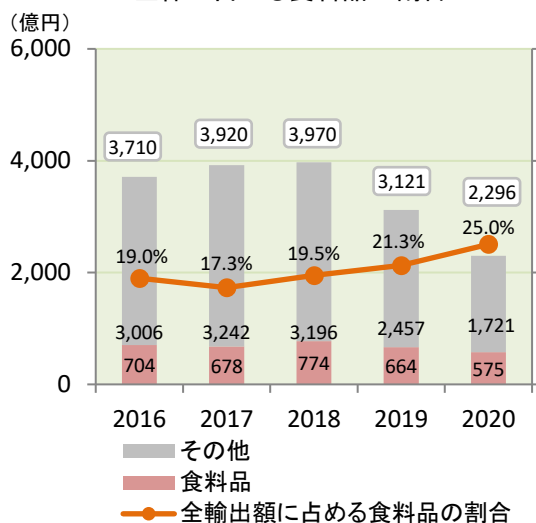
VI. 2020年の北海道における食料品※輸出概況

1. 北海道の輸出額全体に占める食料品の割合

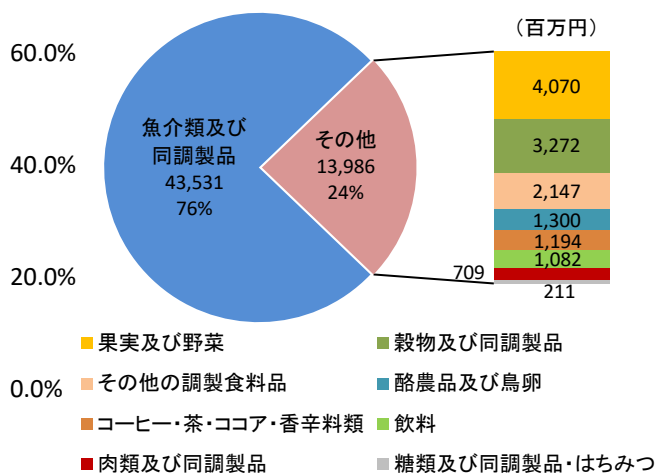
※本トピックでの食料品には、動物用飼料を含まない。

2020年に北海道から輸出された食料品の金額は、約575億円。
品目別では、「魚介類及び同調製品」が食料品全体の75.7%を占めている。

図表48 2016年から2020年までの輸出額全体に占める食料品の割合



図表49 2020年の食料品輸出額(品目別)



出所:財務省「貿易統計」

2. 主な品目別の食料品輸出額

北海道から主に輸出されている食料品は、「スカロップ」、「なまこ」、「さけ」などの魚介類。
主な相手国は、中国、台湾、ベトナムなどのアジア向けが多い。

図表50 北海道における食料品輸出額上位10細品目(2020年 統計品目番号による)

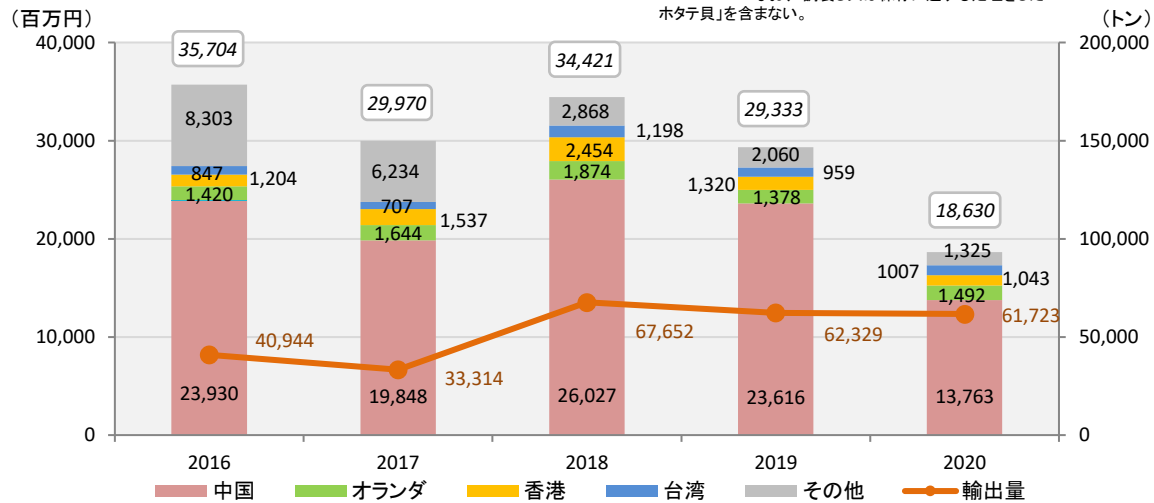
順位	品名	金額(百万円)	主な相手国・地域
1	スカロップ〔通称:帆立貝〕(いたやがい科のもの、ペクテン属、クラミウス属又はブラコペクテン属のもの及びいたや貝を除く)、冷凍したもの	16,590	中国 12,737 オランダ 1,492
2	なまこ(調製し又は保存に適する処理をしたものに限る)の乾燥したもの以外	9,034	香港 7,251 台湾 1,283
3	冷凍した太平洋さけ(オンコルヒュンクス・ゴルブスカ、オンコルヒュンクス・ケタ、オンコルヒュンクス・トスカウイトスカ、オンコルヒュンクス・キストク、オンコルヒュンクス・マソウ及びオンコルヒュンクス・ロデュルス)、フィレ加工されていないもの	3,217	ベトナム 1,623 タイ 782
4	軟体動物(調製し又は保存に適する処理をしたものに限る)の貝柱	3,001	香港 2,514 台湾 249
5	パン、ペーストリー、ケーキ、ビスケットその他のベーカリー製品及び聖さん用ウエハー、医療用に適するオブラート、シーリングウエハー、ライスペーパーその他のもの(クリスピーブレッド、ジンジャーブレッド、スイートビスケット、ワッフル及びウエハー、米菓を除く)	2,228	中国 1,656 韓国 217
6	なまこ(調製し又は保存に適する処理をしたものに限る)の乾燥したもの	2,140	香港 2,040 中国 95
7	スカロップ〔通称:帆立貝〕(いたやがい科のもの、ペクテン属、クラミウス属又はブラコペクテン属のもの及びいたや貝を除く)、生きているもの、生鮮のもの及び冷蔵したもの	2,039	中国 1,026 香港 813
8	たまねぎ及びシャロット(生鮮のもの及び冷蔵したものに限る)	1,448	台湾 1,238 韓国 180
9	ヤム芋(ディオスコレア属のもの)	1,132	台湾 560 米国 391
10	ミルク及びクリーム(濃縮若しくは乾燥をし又は砂糖その他の甘味料を加えたものを除く)、脂肪分が全重量の1%を超え6%以下のもの	1,080	香港 1,069 ベトナム 6

出所:財務省「貿易統計」

2-①「魚介類及び同調製品」の輸出概況(その1)

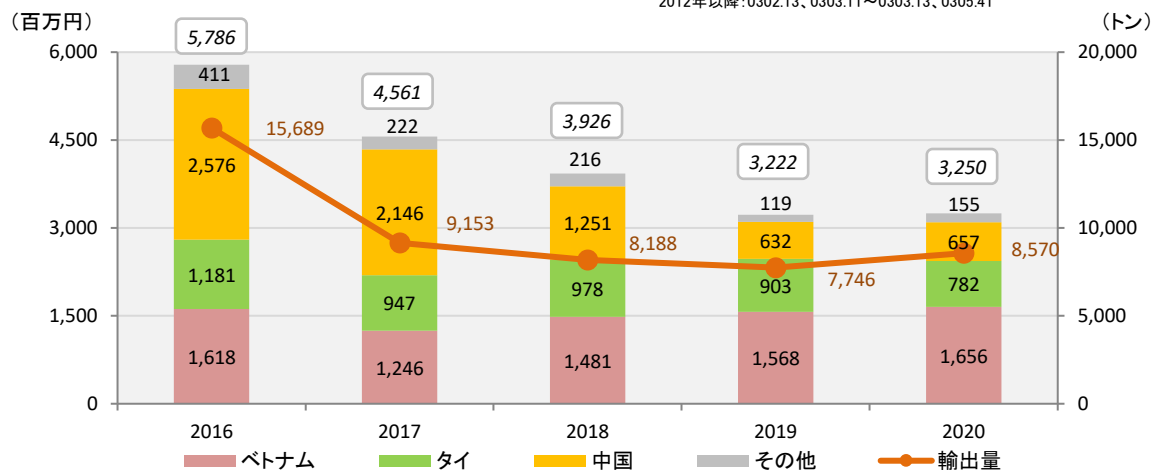
「魚介類及び同調製品」の2020年の輸出額は約435億円で、中国、香港、ベトナムなどに輸出されている。品目別では、「ほたて」は全体的に輸出額が減少した。「さけ」は横ばい。「乾燥なまこ」は中国向けはやや増加したが、香港向けの減少により輸出額が減少した。

図表51 「ほたて」の輸出額及び輸出品量の推移



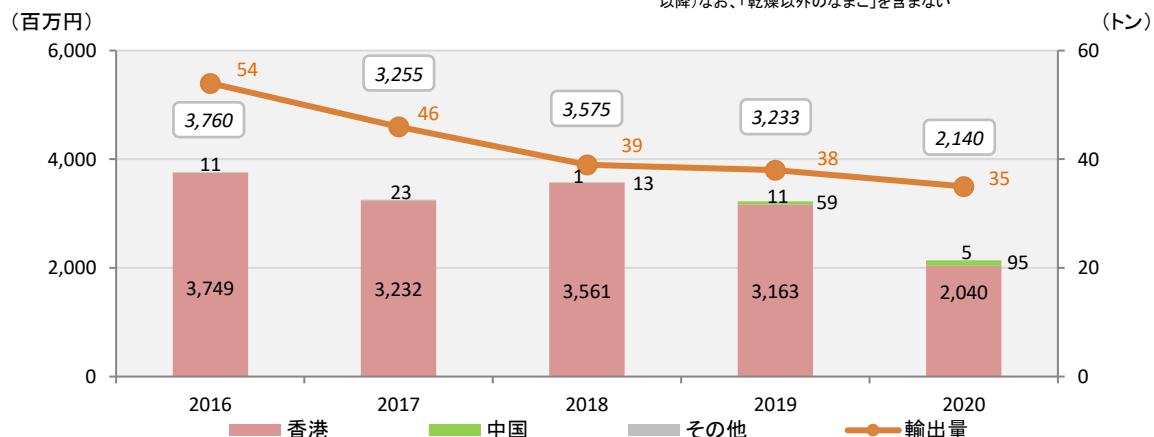
出所: 財務省「貿易統計」

図表52 「さけ」の輸出額及び輸出品量の推移



出所: 財務省「貿易統計」

図表53 「乾燥なまこ」の輸出額及び輸出品量の推移



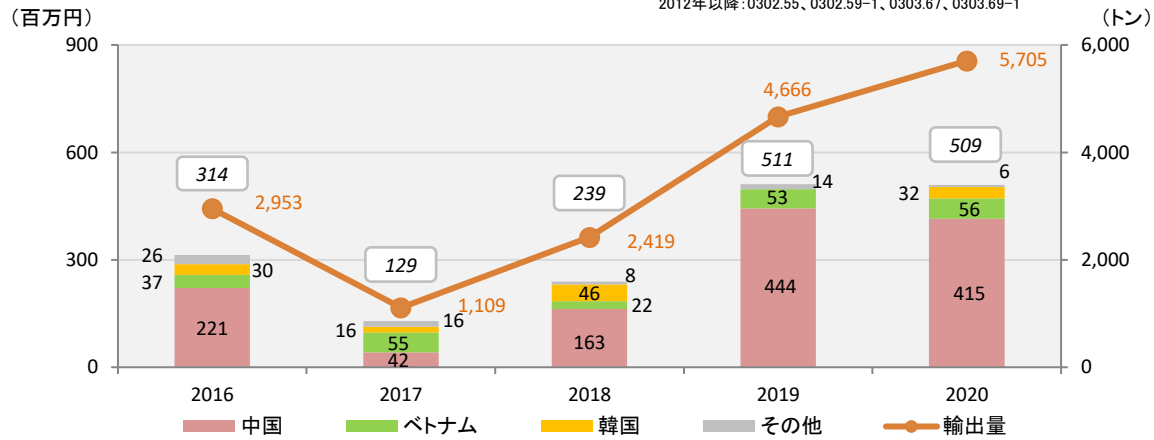
出所: 財務省「貿易統計」

2-①「魚介類及び同調製品」の輸出概況(その2)

「たら」は韓国向けの増加により、輸出量は増加したが、輸出額はやや減少した。
 「いか」は中国向けの増加により、輸出額が増加した。
 「冷凍さんま」はベトナム向けが増加したものの、全体として輸出量が減少した。

図表54 「たら」の輸出額及び輸出量の推移

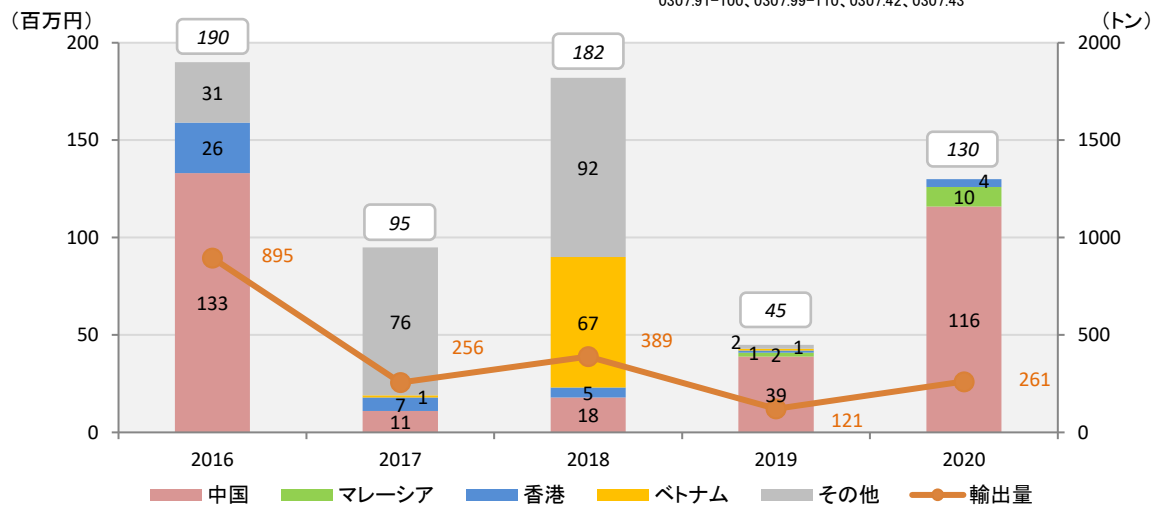
注釈：使用している統計品目番号は以下のとおり。
 2012年以降：0302.55、0302.59-1、0303.67、0303.69-1



出所：財務省「貿易統計」

図表55 「いか」の輸出額及び輸出量の推移

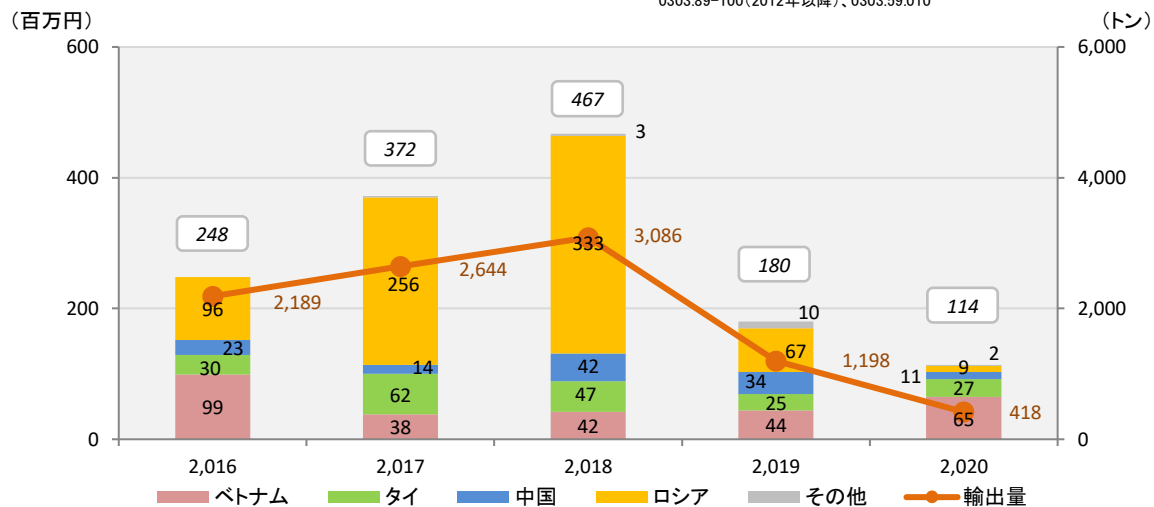
注釈：使用している統計品目番号は、0307.41、0307.49、
 0307.91-100、0307.99-110、0307.42、0307.43



出所：財務省「貿易統計」

図表56 「冷凍さんま」の輸出額及び輸出量の推移

注釈：使用している統計品目番号は、0303.79-100、
 0303.89-100(2012年以降)、0303.59.010

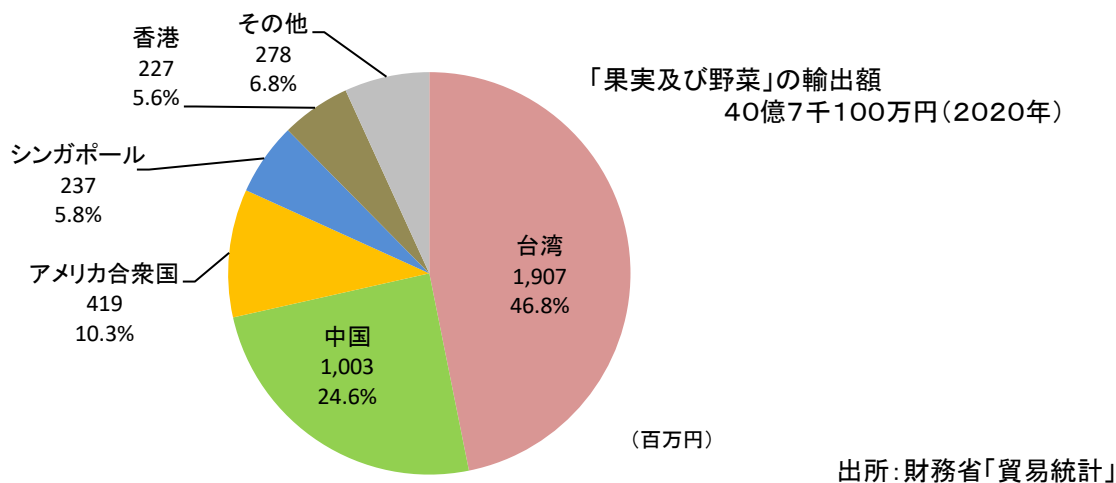


出所：財務省「貿易統計」

2-②「果実及び野菜」の輸出概況

「果実及び野菜」の2020年の輸出額は約41億円で、主に台湾、中国、米国などに輸出されている。2020年、輸出が多かった品目は「たまねぎ」、「ながいも」などで、「たまねぎ」は、台湾や韓国に輸出されている。

図表57 「果実及び野菜」の主な輸出相手国・地域(2020年)

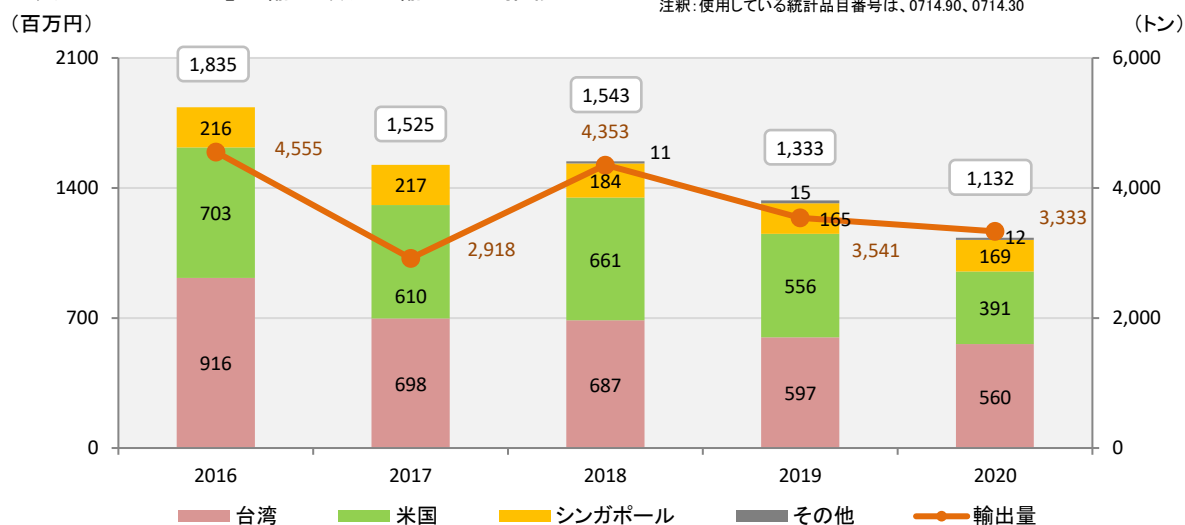


図表58 「果実及び野菜」輸出額上位5細品目(2020年 統計品目番号による)

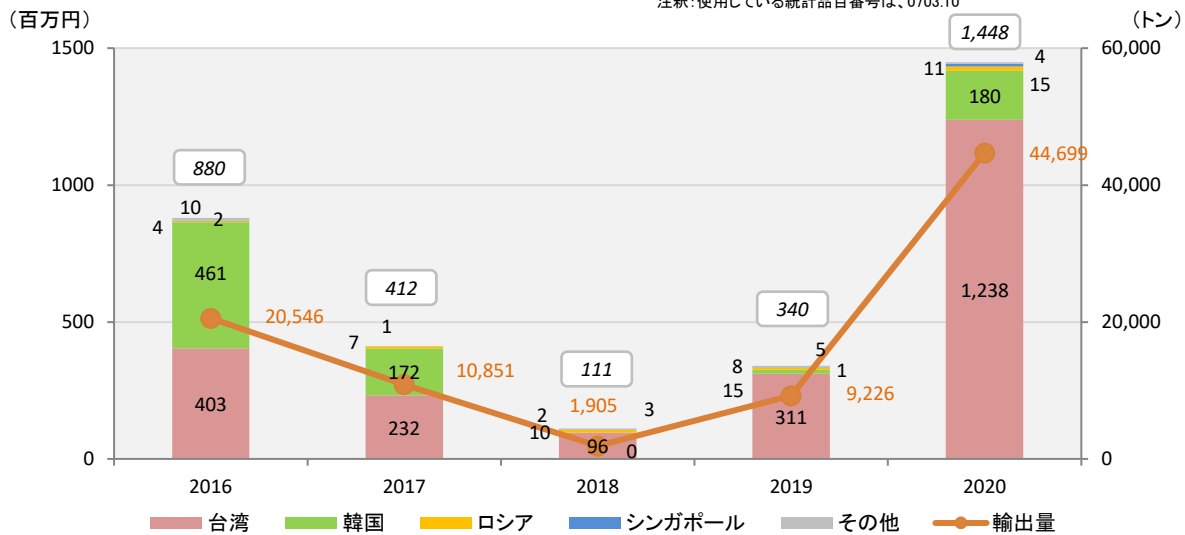
順位	品名	金額(百万円)	主な相手国・地域
1	たまねぎ及びシャロット	1,448	台湾 1,238 韓国 180
2	ヤム芋(ディオスコレア属のもの)	1,132	台湾 560 米国 391
3	ばれいしよ	891	中国 744 香港 44
4	納豆	256	中国 238 韓国 18
5	パパイア及びメロン(すいかを含む。)(性腺のものに限る。)のうち、すいかとパパイアを除くその他のもの。	131	香港 128 シンガポール 1

出所:財務省「貿易統計」

図表59 「ながいも」の輸出額及び輸出量の推移

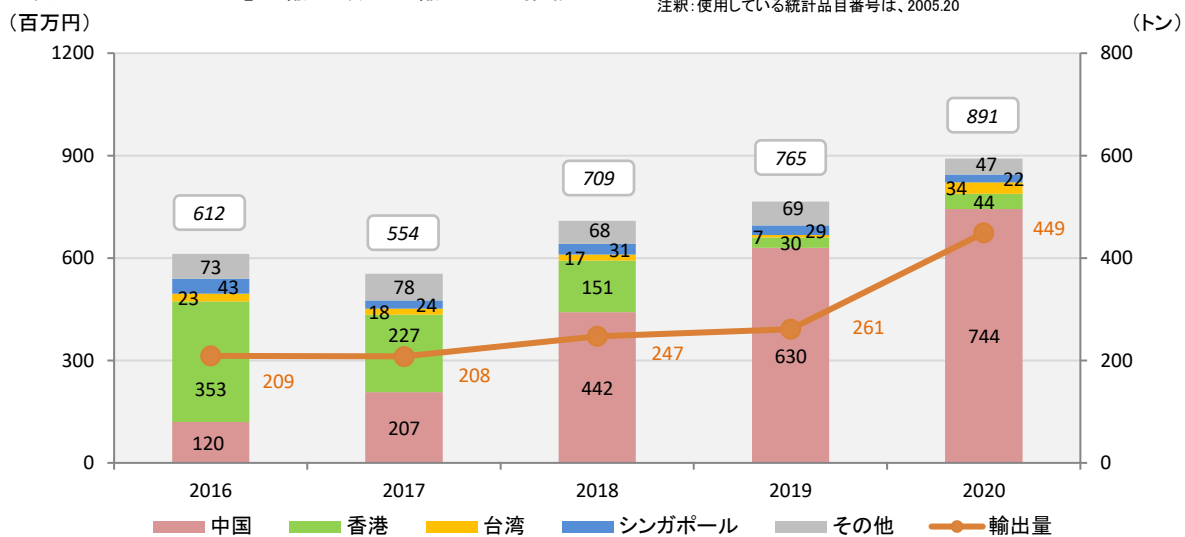


図表60 「たまねぎ」の輸出額及び輸出量の推移



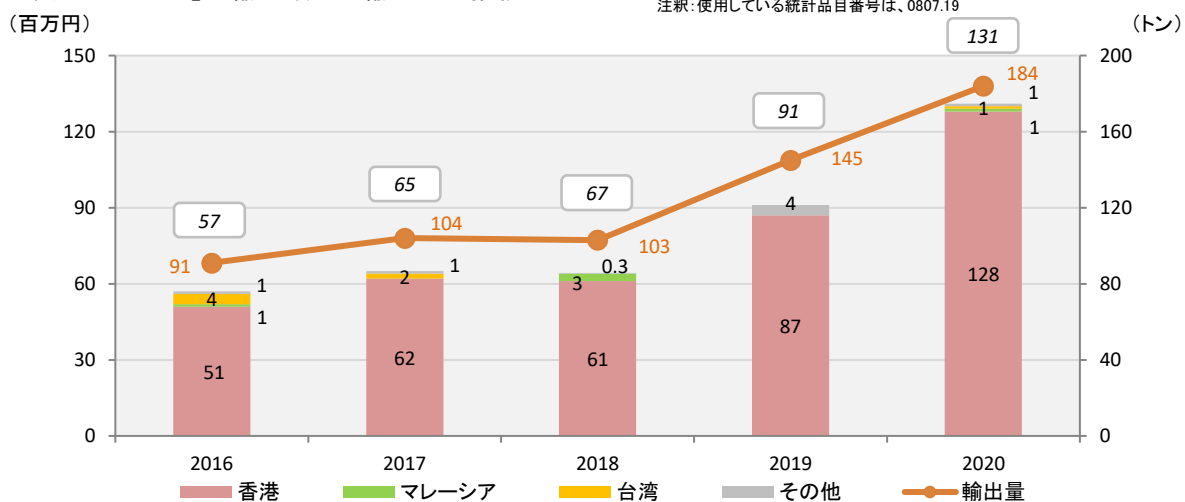
出所: 財務省「貿易統計」

図表61 「ばれいしょ」の輸出額及び輸出量の推移



出所: 財務省「貿易統計」

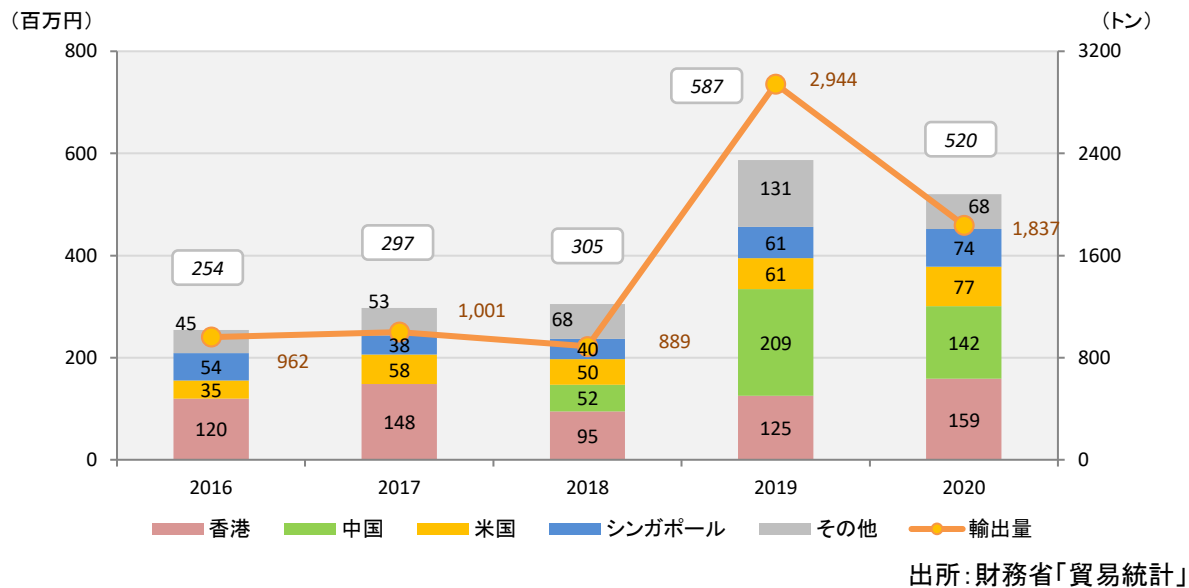
図表62 「メロン」の輸出額及び輸出量の推移



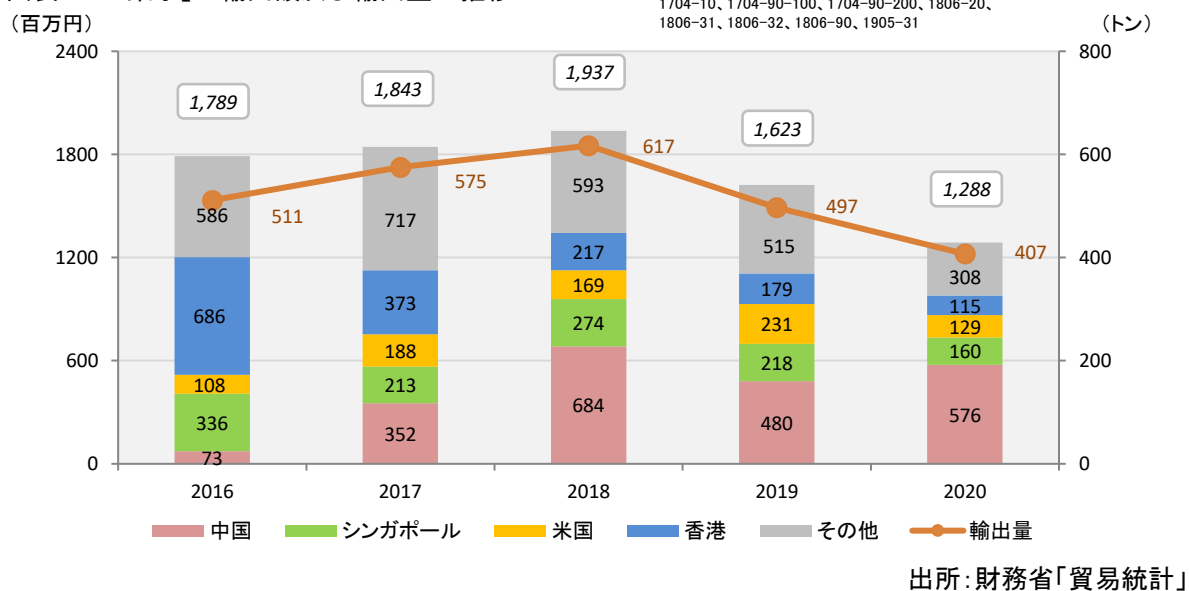
出所: 財務省「貿易統計」

2-③. 「その他の食料品」の輸出概況

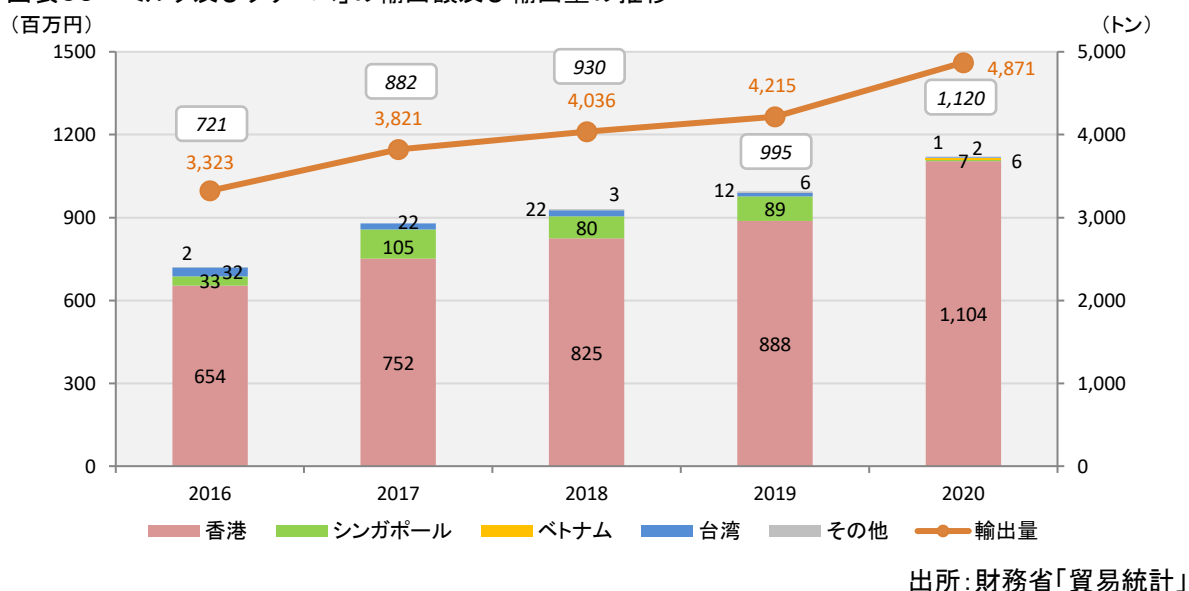
図表63 「米」の輸出額及び輸出量の推移



図表64 「菓子」の輸出額及び輸出量の推移

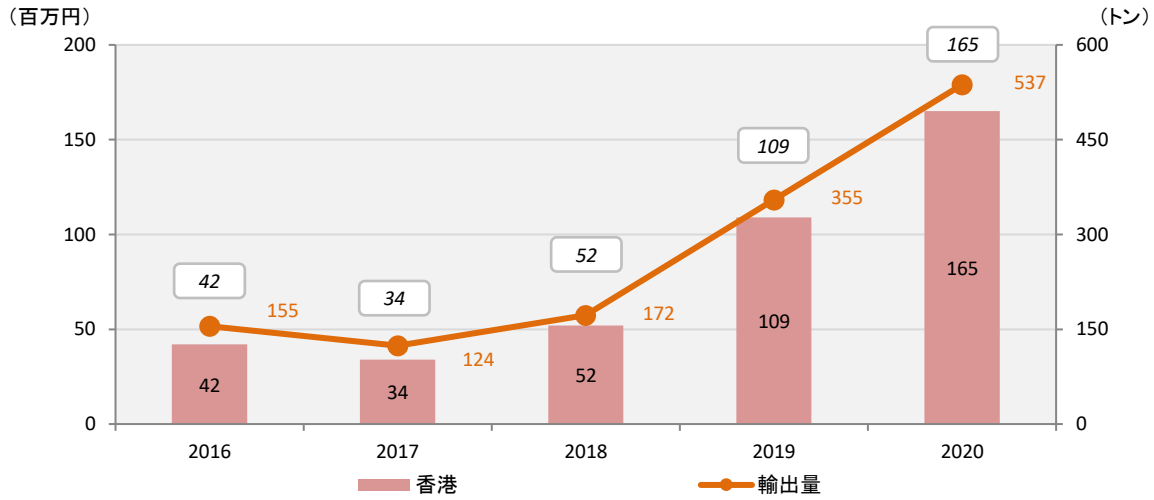


図表65 「ミルク及びクリーム」の輸出額及び輸出量の推移



図表66 「鶏卵」の輸出額及び輸出量の推移

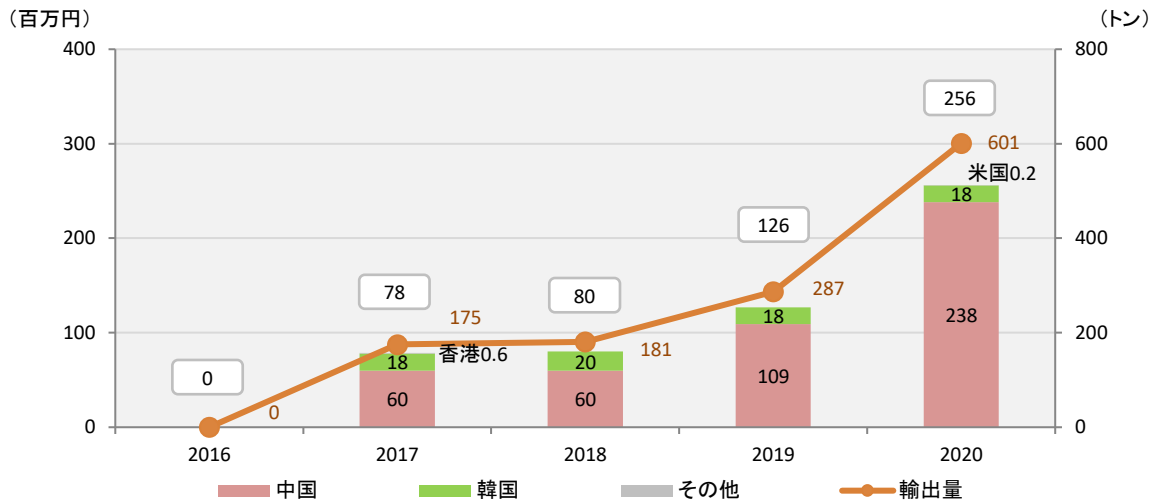
注釈: 使用している統計品目番号は、0407.21-000



出所: 財務省「貿易統計」

図表67 「納豆」の輸出額及び輸出量の推移

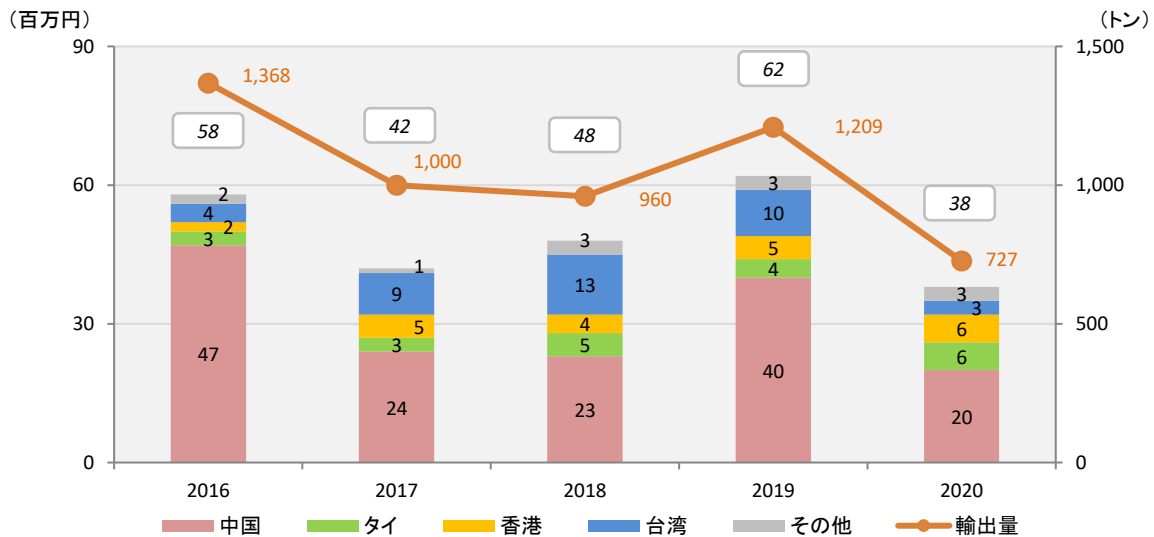
注釈: 使用している統計品目番号は、2008.19-010



出所: 財務省「貿易統計」

図表68 「ミネラルウォーター」の輸出額及び輸出量の推移

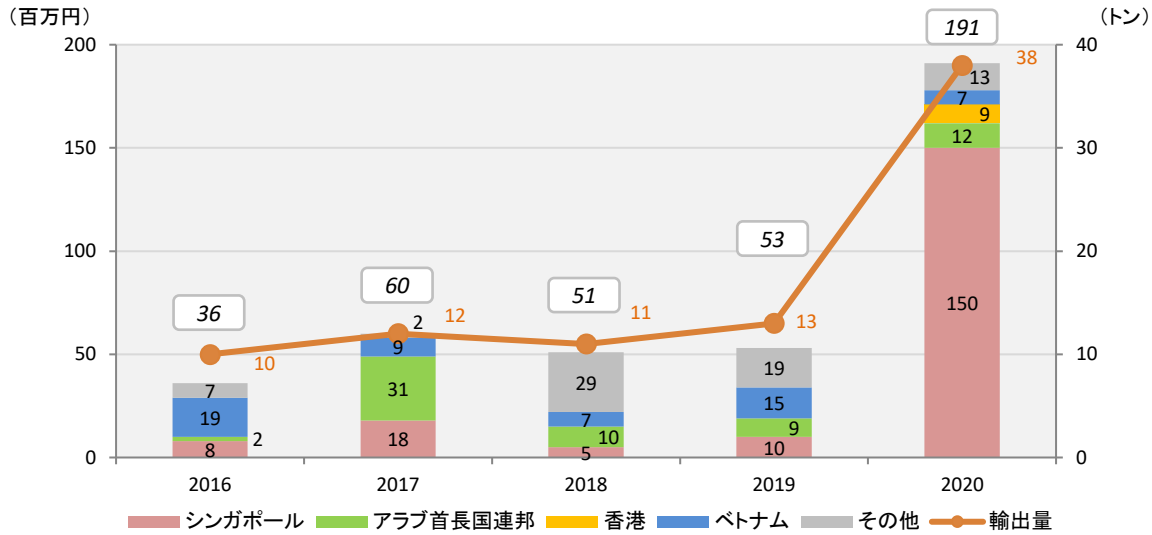
注釈: 使用している統計品目番号は、2201



出所: 財務省「貿易統計」

図表69 「牛肉」の輸出額及び輸出量の推移

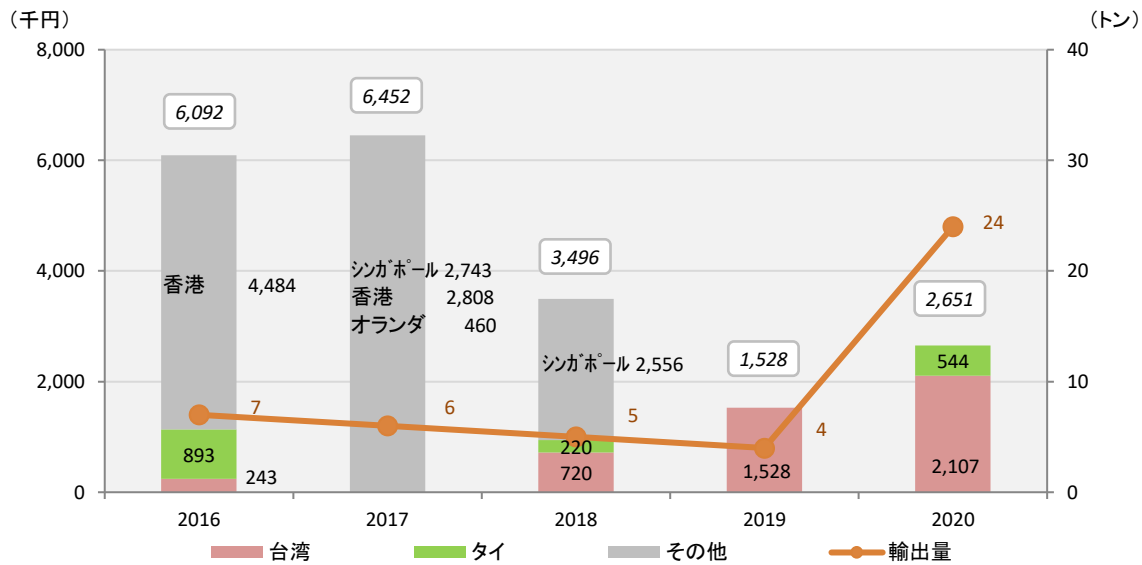
注釈：使用している統計品目番号は、0201、0202



出所：財務省「貿易統計」

図表70 「冷凍野菜」の輸出額及び輸出量の推移

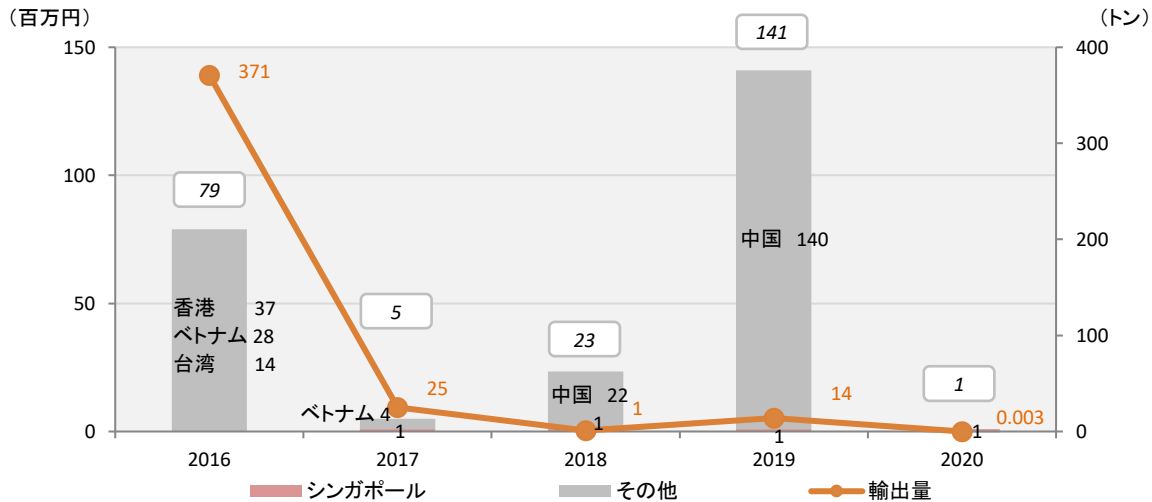
注釈：使用している統計品目番号は、0710



出所：財務省「貿易統計」

図表71 「うに」の輸出額及び輸出量の推移

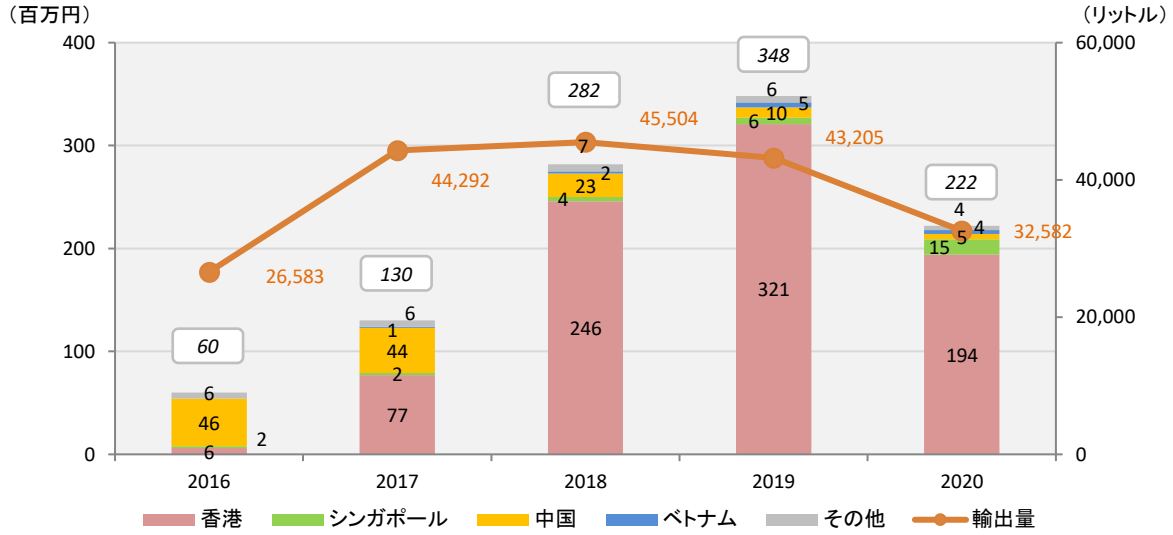
注釈：使用している統計品目番号は、0308.19-900



出所：財務省「貿易統計」

図表72 「日本酒」の輸出額及び輸出量の推移

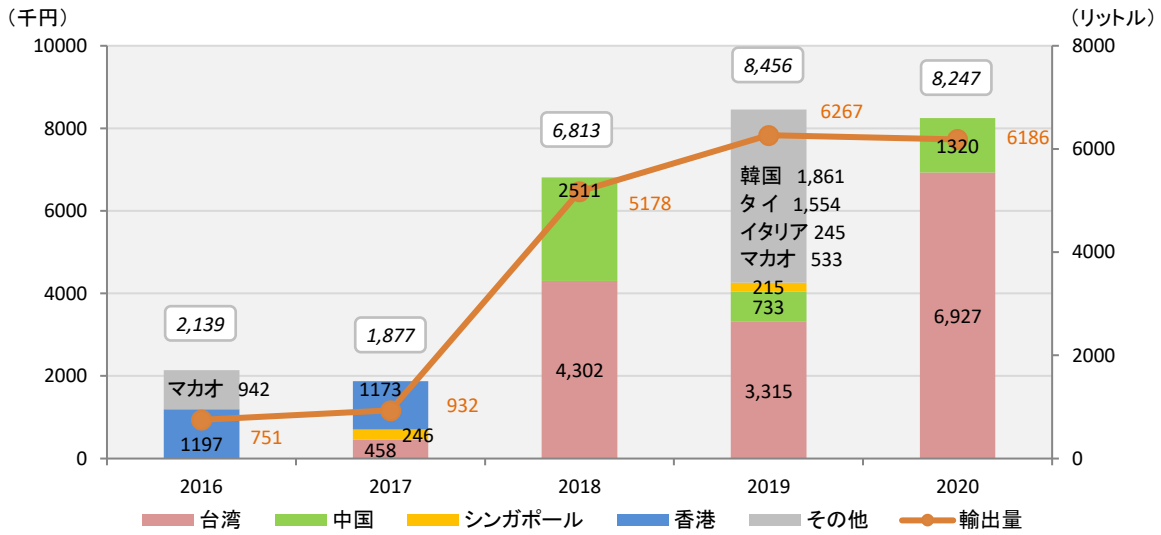
注釈: 使用している統計品目番号は、2206.00-200



出所: 財務省「貿易統計」

図表73 「ワイン」の輸出額及び輸出量の推移

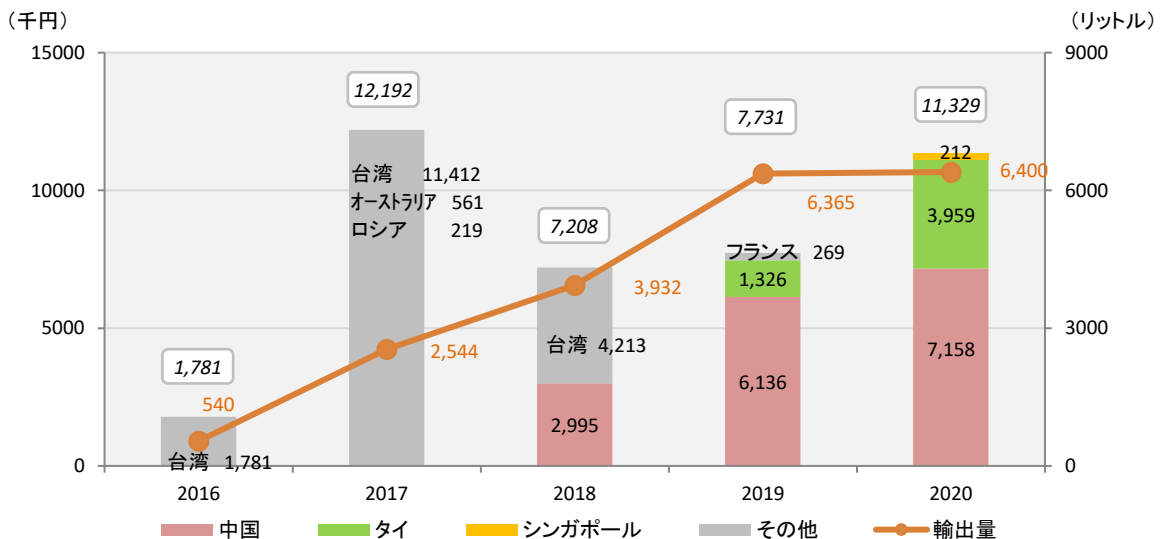
注釈: 使用している統計品目番号は、2204



出所: 財務省「貿易統計」

図表74 「ウイスキー」の輸出額及び輸出量の推移

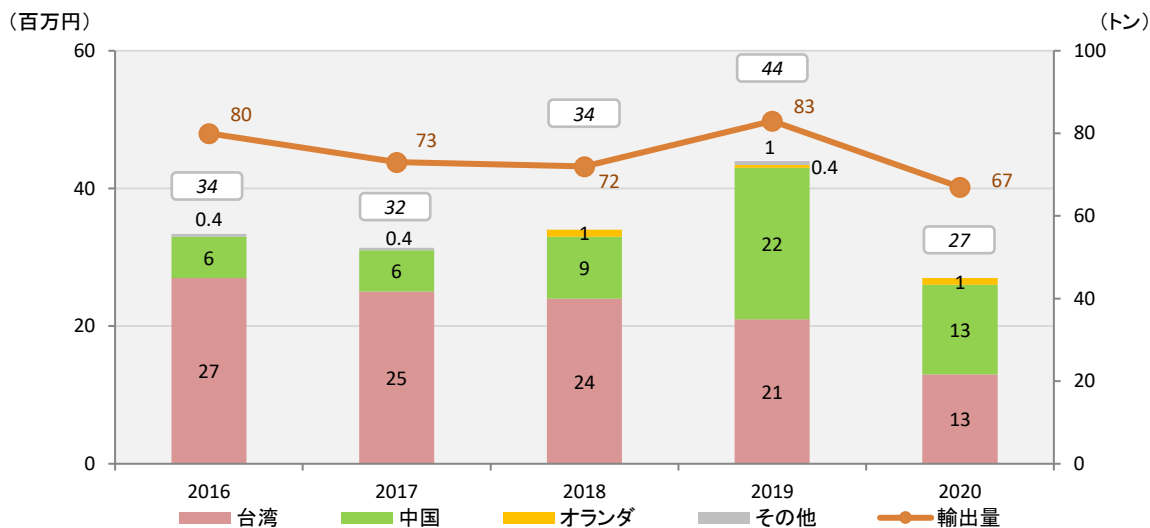
注釈: 使用している統計品目番号は、2208.30.000



出所: 財務省「貿易統計」

図表75 「昆布」の輸出額及び輸出量の推移

注釈: 使用している統計品目番号は、1212.21-200

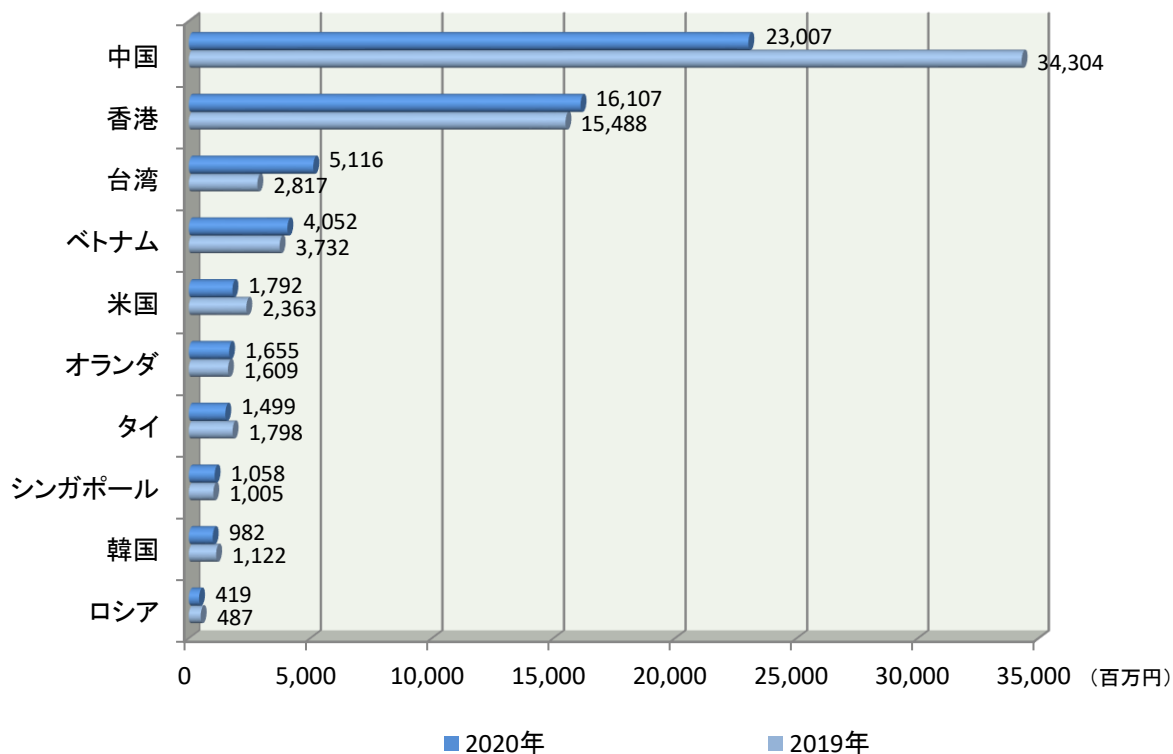


出所: 財務省「貿易統計」

3. 食料品の主な輸出相手国・地域

2020年、北海道における食料品の輸出相手先をみると中国が最も多く、次いで、香港、台湾、ベトナム、米国などの順になっている。

図表76 北海道における食料品の主な輸出相手国・地域



出所: 財務省「貿易統計」

「目で見える北海道貿易」参考情報① ～北海道の貿易データ～

北海道の貿易データは、函館税関の「貿易統計」ウェブサイトで見ることが出来ますが、本資料のように特定の品目別、国・地域別の輸出入額や輸出入量を調べる場合は、「財務省貿易統計」の「統計表一覧」から、CSVデータをダウンロードし、エクセルの「フィルター」等の機能を使って必要な情報だけを抽出します。

CSVデータは「財務省貿易統計」の下記ページからダウンロードできます。ちなみに、本資料では主に「[税関別品別国別表](#)」や「[税関別概況品別国別表](#)」を使用しています。

普通貿易統計> <http://www.customs.go.jp/toukei/info/tsdl.htm>

CSVデータはコード番号などの数字で構成されています。主なコードは下記のとおりです。

Custom: 港(税関)ごとのコード

税関別符号表> <http://www.customs.go.jp/toukei/sankou/dgorder/a2.htm>

HS: HSコード(統計品目番号)

輸出統計品目表> <http://www.customs.go.jp/yusyutu/index.htm>

輸入統計品目表> <http://www.customs.go.jp/tariff/index.htm>

Commodity: 概況品コード

概況品コード表> <http://www.customs.go.jp/toukei/sankou/code/code.htm>

Country: 国・地域別のコード

国名符号表> <http://www.customs.go.jp/toukei/sankou/dgorder/a1.htm>

なお、全国の貿易データは、「財務省貿易統計」の「検索ページ」で簡単に検索することが出来ます。

貿易統計検索ページ> <http://www.customs.go.jp/toukei/srch/index.htm>

「目で見える北海道貿易」参考情報② ～「HSコード」と「概況品コード」について～

「HSコード」とは「統計品目番号」(とくに輸入の場合は「関税番号」「税番」といわれるもので、9桁の数字で表記されます。このコードの6桁目までは、HS条約に基づいて国際的に統一されており、輸出入とも共通です(7桁目以降の国内細分については、輸出と輸入では、必ずしも同じではありません)。

一方、「概況品コード」は、いくつかの統計品目をまとめて、より一般的な名称を付したもので、1、3、5、7、8桁のものがあります。

本資料では、主に「概況品コード」を用いて集計していますが、一部の表やグラフについては、「統計品目番号による」「使用している統計品目番号」と注記のうえ、「HSコード」を用いて集計しています。

特定品目の貿易額を調べる場合、まずは「HSコード」を確認することとなりますが、「HSコード」は必ずしも一つの品目に一つの番号とはなっていないため、調べたい品目だけの貿易額を抽出できない場合もありますので、注意が必要です。

「HSコード」と「概況品コード」につきましては、「目で見える北海道貿易」参考情報①でご紹介したウェブサイトよりご参照ください。

(例)「冷蔵のにんじん」の輸出額を調べたい場合。

「冷蔵のにんじん」のHSコードは、0706.10-000「にんじん及びかぶ(生鮮のもの及び冷蔵したものに限る。)」ですが、この番号の輸出額には「生鮮・冷蔵のかぶ」や「生鮮のにんじん」も含まれているため、「冷蔵のにんじん」の輸出額だけを、貿易統計で調べることは出来ません。

Edited by

日本貿易振興機構（ジェトロ）北海道

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西2丁目北海道経済センター9階

TEL:011-261-7434

Email: SAP@jetro.go.jp